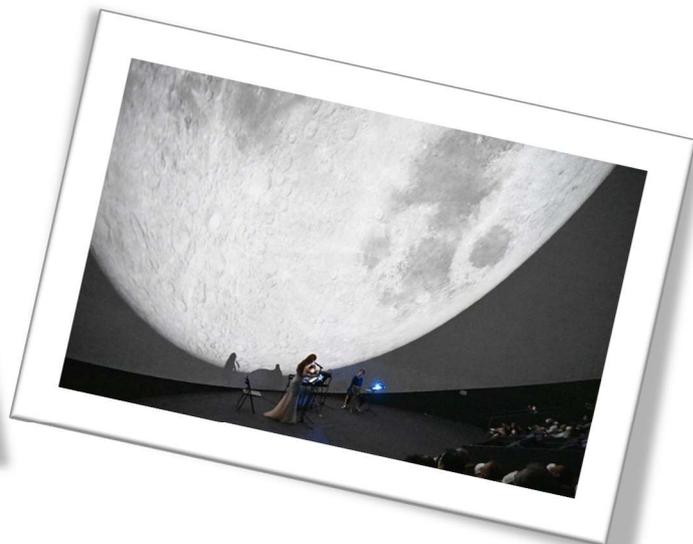


令和5年度

相模原市立博物館 年報



相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

令和6年4月1日

令和5年度年報発刊に寄せて

日頃より、ご来館ご観覧ありがとうございます。

年報発刊にあたり令和5年度を振り返ると、主な取組や成果を次のとおり四つ挙げる事ができます。

第一に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により大幅に落ち込んだ来館者数は令和3年度以降回復傾向にありましたが、令和5年度には、コロナ禍以前の状況にまで回復し、ここ数年の課題であった「日常」を取り戻すという目標をほぼ達成することができました。

第二に、令和4年度に引き続き、庁内外との連携事業に積極的に取り組み、ミニ展示、講座、体験学習など、多岐にわたる活動を博物館内だけでなく、館外で行いました。特に、伊勢市にある尾崎罫堂記念館と展示を同時開催するなど、遠隔地との連携にも新たに取り組みました。また、麻布大学いのちの博物館と、今後、さらに円滑に連携を進めるための覚書を締結しました。

第三に、博物館からの情報発信として、SNSによる事業の紹介だけではなく、博物館の日常的な活動の紹介などにも取り組み、その成果として、フォロワー数が順調に増えており、博物館の存在を広く知っていただくことに繋がっていると考えています。さらに、庁内外の機関と連携してデジタルスタンプラリーにも参加するなど、デジタル技術を活用した来館のきっかけ作りにも取り組みました。今後も急速に発展しているデジタル技術による広報の在り方について研究を進め、効果的な情報発信を行えるよう努めて参りたいと考えています。

第四に、施設管理の空調設備の根幹的設備である冷温水発生機と館内エレベーターの一部更新を実施しました。更新工事のため3か月休館し、利用者のみなさまにはご不便をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。今後も施設の長寿命化を図るため、設備の修繕や更新に適切に取り組んで参ります。

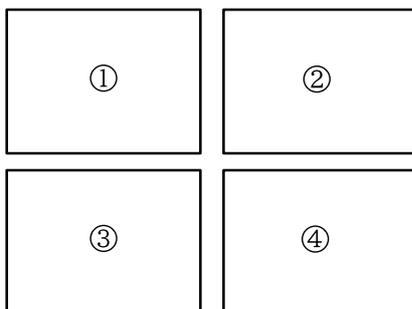
これからご覧いただく令和5年度の年報では、以上の成果のほか、様々な取組を報告しています。数字だけがすべてではありませんが、多くのみなさまにご来館いただけるようになったこと、博物館職員一同、大変嬉しく思っています。

これからも、「相模原市立博物館の使命」を果たすべく、調査研究・資料収集・各種普及事業などに取り組むとともに、安心・安全・快適な施設運営に努めてまいります。

令和6年度の、そしてこれからの博物館に、どうぞご期待ください。

令和6年4月 相模原市立博物館長

表紙の写真



- ① 学びの収穫祭「口頭発表会」の様子
- ② 「プラネタリウムオータムコンサート」の様子
- ③ 「朗読プラネタリウム」の様子
- ④ 麻布大学いのちの博物館展示解説サークル「ミュゼット」とのコラボ「生きものミニサロン」の様子

目 次

I	相模原市立博物館概要	2
1	設立の経緯	
2	設置目的	
3	令和5年度 博物館重点目標	
4	博物館ネットワークの推進	
5	相模原市立博物館活動評価書（抜粋）	
II	管理運営	6
1	組織と事務分掌	
2	博物館協議会	
3	施設	
4	予算（当初）	
III	教育普及・学習支援	11
1	入館者数	
2	常設展示	
3	展示	
4	講座・講演会等	
5	広報等その他事業	
6	プラネタリウム・全天周映画	
7	広報・出版等	
8	博物館学芸員実習	
9	団体利用	
10	博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用	
11	相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し	
12	ネットで楽しむ博物館	
13	インターンシップ	
14	博物館職員の講師依頼等	
15	JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」	
16	市民との協働	
IV	資料管理	40
1	博物館収蔵資料点数	
2	収集・整理	
3	有害生物管理の実施	
4	資料の特別利用	
5	JAXA宇宙科学研究所からの借用物	
V	調査研究	46
VI	市史関連事業	47
1	収集・整理事業	
2	普及事業	
VII	博物館所管施設	48
1	尾崎罌堂記念館（緑区又野）	
2	吉野宿ふじや（緑区吉野）	
3	入館者数一覧	
VIII	企画展（特別展示）、プラネタリウム・全天周映画一覧	52
IX	企画展（特別展示）ポスター一覧	53
X	博物館略年表	54
付録	相模原市立博物館条例 相模原市立尾崎罌堂記念館条例 相模原市吉野宿ふじや管理規程	相模原市立博物館条例施行規則 相模原市立尾崎罌堂記念館条例施行規則

I 相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和53年12月、郷土懇話会や文化協会ほか8団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係6団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために＝地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和55年、市の「キャンプ淵野辺留保地整備計画」の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和56年4月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に6か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。相模原市の公共施設として、初めてプロポーザル方式で設計者を選定し、平成5年に着工した。

平成7年11月20日（市制記念日）に開館。開館後は1階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

累計入館者数は、平成31年3月に300万人を超え、多くの来館者を迎えてきたが、令和2年から3年にかけての新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数は大幅に減少した。

コロナ禍の収束により、令和4年度以降、順調な回復を見せ、令和6年3月には、累計入館者数は350万人を突破した。また、多くの市民の会による活動など、ボランティアによる活動も再び盛んになっている。さらに、学校への出張授業や、市内の小学校が来館して学習するなど、学校への支援・連携も引き続き積極的に取り組んでいる。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。（市立博物館条例第2条）

当館の特徴…自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（平成7年11月20日神奈川第32号）

3 令和5年度 博物館重点目標

当館は、地域の総合博物館として、「相模原」の自然、文化並びに天文に親しみ、理解を深める場を提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、いきいきとした市民文化の創造に貢献することを目的としています。

そのため、博物館の使命である、郷土の歴史や文化・自然に関する資料の収集・保存に努め、調査・研究をより一層深めるとともに、その活用を図りながら地域文化を継承し発信拠点となるよう取り組みます。また、学校や関係機関等との連携を促進し、主体的に参加する市民を育成し協働を進めながら、市民文化の向上に資する事業の展開、及び「学び」と「活動」の好循環を生み出す取組に努め、更なる相模原の魅力づくりを推進します。

事業の実施に際しては、SDGsの推進、共生社会の実現及びシビックプライドの醸成を常に念頭に置きながら、『第二次相模原市教育振興計画』の基本方針に則り、具体的な取組を進めます。

また、令和7年度のリニューアルに向け、プラネタリウム改修についての事務を進めるほか、市建築物の長寿命化計画に基づく当館の改修事業について着実に執行します。

■ 重点目標 ■

- ・郷土への理解を深めるため、収蔵資料の更なる活用を通し、魅力ある展示に努めます。
- ・日ごろの調査研究の成果を生かし、かつ、関係機関や団体、学校等と連携した事業の実施に取り組み、来館者や閲覧者の増加を図るとともに学びの場の提供に努めます。
- ・JAXA等との連携を強化し、プラネタリウム等の特色を生かした宇宙教育普及事業の充実に取り組みます。
- ・市民ボランティア等の育成・充実に取り組み、博物館活動への市民の参画を促進するとともに、協働による事業展開を進めます。
- ・博物館への興味・関心を高めるとともに来館のきっかけとなるよう、多様なメディアを活用し、効果的、魅力的な情報発信に努めます。
- ・人（来館者・従事者）にもモノ（収蔵品）にも安全で快適な環境維持のため、計画的で適切な施設の管理に努めます。

■ 重点施策（取り組むべき事業） ■

1 展示・教育普及事業の推進

- (1) 考古・歴史・民俗・生物・天文・地質等に関する企画展示、講演会等の実施
- (2) 市民ボランティアとの協働による展示の工夫及び事業の実施
- (3) JAXA等との連携を重視した宇宙教育普及事業の実施
- (4) 尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじや情報発信事業の実施
- (5) 市民ボランティアの育成、充実と主体的な活動の促進

2 積極的な情報発信事業の推進

- (1) 広報さがみはら、ホームページに加え、ブログ・ツイッター・YouTube、Instagram等インターネットを活用した効果的な情報発信の実施
- (2) 機会を捉えた積極的な情報提供の実施

3 施設及び関連施設の維持管理

- (1) 計画的な施設維持管理の実施
- (2) 来館者の安全・安心を最優先した管理運営の実施

4 市史関連事業の推進

- (1) 市史編さん関連資料類の整理・保存及び普及活動の実施

5 博物館評価の実施

- (1) 自己評価・利用者意見・博物館協議会委員意見による博物館評価の実施

4 博物館ネットワークの推進

博物館所管施設の尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじやにおける地元団体への委託事業のほか、社会教育施設等における出張展示や普及・活用事業への学芸員の派遣など連携・協力・助言を行った。その結果、博物館をコア施設と捉え、社会教育施設全体をネットワークと考える多くの場所での学習機会の提供に寄与することができた。

ア 尾崎罌堂記念館展示・普及事業

- …「尾崎行雄を全国に発信する会」へ委託し、次の事業を開催した。
 - ・ミニ企画展「憲政擁護運動と尾崎行雄（罌堂）」と展示解説会
 - ・近・現代史講演会「渋沢栄一の近代産業育成～『忠恕』と『公益』～」

イ 吉野宿ふじや展示・普及事業

- …「NPO法人ふじの里山くらぶ」へ委託し、次の事業を開催した。
 - ・「甲州道中（相模湖・藤野・上野原）のおひな様」展
- また、ふじの里山くらぶ主催で「加藤世紀 絵画展」展を開催した。

ウ 生涯学習部内の連携

- …市内の生涯学習施設として相互PRを行うため、総合学習センターで出張ミニ展示を開催したほか、図書館、中央区役所とSNSの相互フォローをするなど連携を図った。
- …「古民家でおひな様 春のおでかけスタンプラリー2024」として、文化財保護課と相模湖まちづくりセンター、田名財産管理委員会、博物館で連携し、相模原市古民家園、小原宿本陣、旧石器ハテナ館、小原の郷、相模田名民家資料館、吉野宿ふじやにおいて、同時期にひな人形を展示し、各施設をめぐるスタンプラリーを実施した。
- エ JAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟出張展示（詳細は38頁Ⅲ15参照）
- …博物館とJAXAの連携のひとつとして、JAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟の博物館紹介コーナーに出張展示を行った。

5 相模原市立博物館活動評価書（抜粋）

I 相模原市立博物館活動評価の総括 （評価期間：令和4年度）

- 平成20年6月に「博物館法」が改正され、博物館の運営状況の評価やその情報の提供等を行うこととされた。このため当館では、当館の使命等に基づき、定量評価及び定性評価の手法で、博物館協議会による有識者評価を経て、平成23年度から25年度、平成26年度から28年度、平成29年度から令和元年度、及び令和2年度から令和3年度までに引き続き、第5回目となる令和4年度の活動について評価を行った。

【当館の使命】

- 地域の歴史や文化・自然に関する資料を調査研究し、また、収集した資料を適切に保存し蓄積するとともに、その活用を図りながら地域文化を継承・発信する拠点となること。
- 主体的に参加した市民と協働し、あるいは地域の諸機関と広く連携していく体制を整え、市民文化の向上に資する活動を積極的に展開すること。

【評価項目】

- 1 博物館の基礎的な機能を果たすための必要な活動
- 2 展示教育普及事業の推進
- 3 市民との協働による博物館活動の展開
- 4 市関連施設・機関との連携

令和4年度における活動評価全体総括

○ 地域の歴史や文化・自然に関する調査研究を遂行し、その成果を活用して展示教育普及事業を活発に行っていることが評価され、来館者数の増加につながっていることも評価された。具体的には、小予算ながらも着実に研究成果を上げ、他機関と共同研究を進めていることが評価された。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮して、企画展やミニ展示を実施したことも評価された。今後、リピーターや高齢者の来館者数の増加に取り組んでほしいとの要望があった。

○ 多くの市民団体や関連施設及び他機関と協力して博物館活動を展開していることが評価された。

具体的には、市民団体との協働により調査研究及び展示教育普及事業をはじめ、市関連施設や他機関との連携事業などが評価された。さらには、プラネタリウムを活用した多彩な宇宙教

育普及事業の実施を推進してきた点も評価された。

博物館の使命を果たすべく、主体となる市民と協働し、関連する諸機関とさらなる連携を深め、今後とも改善を積み重ねながら調査研究・資料収集・教育普及事業に取り組むとともに、安心・安全・快適な施設運営に努めていく。

【定量評価】

- 入館者数・プラネタリウム観覧者などはコロナ禍前の9割程度まで回復し、講座参加者・講演回数、学芸員の講師派遣回数は、コロナ禍前の同程度の回数となっている。コロナ禍前の活動水準にまでは達していないものの、コロナ禍において活動を休止していた市民の会の多くが活動を再開した。市民の学習機会の場を維持し、生涯学習機関としての博物館として役割を果たすことができた。

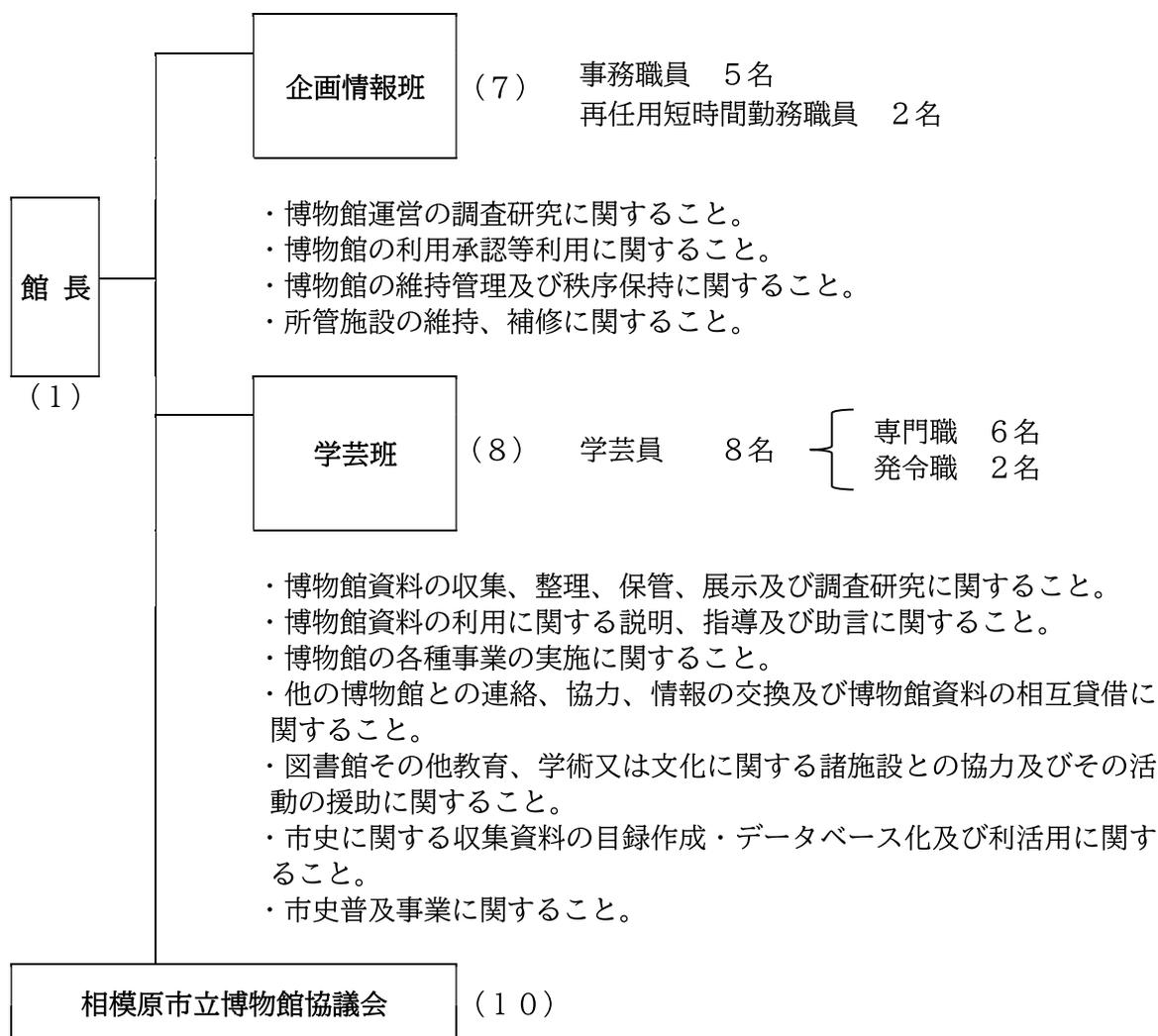
【定性評価】

- 1 博物館の基礎的な機能を果たすための必要な活動では、「資料収集及び調査研究とその成果の公表」「施設・環境の維持管理」について評価を行った。
有識者からは、学芸員の日ごろの調査研究、資料収集・再整理作業が成果を上げていることが評価され、他機関との共同研究による事業の発展も期待されている。また、収蔵施設の維持管理のための定期的な環境維持作業の継続が求められている。
課題としては、学芸員の専門性を担保するための環境整備や新たな収蔵スペースの確保、資料データベースの構築が挙げられた。
- 2 展示教育普及事業の推進では、「企画展示・教育普及事業の実施」「宇宙教育普及事業」「様々なメディアを用いた情報発信の取組」について評価を行った。
新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮して企画展やミニ展示、講演会などの教育普及事業を実施し、幅広く学習機会を提供したことが評価された。また、プラネタリウムを活用した天文教育やコンサートなどのイベントの実施が評価された。
課題として、企画展やミニ展示の成果の常設展示への反映、JAXAに頼らない博物館独自の企画や気象関係の事業の実施が挙げられた。また、情報発信については発信方法の工夫やSNSのさらなる活用が求められた。
- 3 市民との協働による博物館活動の展開では、「市民協働による調査研究・資料収集活動」「市民協働による展示教育普及事業」について評価を行った。
有識者からは、充実した市民の会の活動が評価され、市民協働による博物館活動の継続が期待されている。
課題として、高齢化による市民の会への参加者減少について、もっと具体的な理由分析が必要であるとの指摘を受けた。
- 4 市関連施設・機関との連携では、「関連機関との連携」「学校等への学習支援」について評価を行った。
有識者からは、ミニ展示の出張展示、学校や他機関への学芸員の講師派遣の充実及び幅広い世代の見学・研修の受け入れが評価された。また、他の多くの教育施設をはじめ、地域の様々な施設との連携強化が期待されている。
課題として、インターンシップの受入再開や、貸出キットの利用促進及び貸出件数が少なかったことの背景の説明不足が挙げられた。

II 管理運営

1 組織と事務分掌

令和6年3月31日現在



- ・会計年度任用短時間勤務職員
- 博物館学習指導員 (1)
- 市史資料調査員 (3)
- 事務補助員 (収蔵品整理) (3)
- 事務補助員 (尾崎号堂記念館施設管理業務) (3)
- 事務補助員 (吉野宿ふじや施設管理業務) (2)
- 事務補助員 (2)

2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期2年

第14期 令和3年11月20日～令和5年11月19日

◎会長 ○副会長

氏 名	備 考	選出区分
藤田 博己	小学校校長	学校教育
五十里 雅子	高等学校校長	
大貫 英明	市文化財研究協議会副会長	社会教育
篠田 春美	市PTA連絡協議会副会長	
○ 吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	家庭教育
◎ 岩野 秀俊	元日本大学生物資源科学部教授	学識経験者
浜田 弘明	桜美林大学教授	
藤本 正樹	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	
山本 幸奈	市民公募	市の住民
中里 真紀子		

第15期 令和5年11月20日～令和7年11月19日

◎会長 ○副会長

氏 名	備 考	選出区分
大貫 努	小学校校長	学校教育
五十里 雅子	高等学校校長	
大貫 英明	市文化財研究協議会会長	社会教育
大谷 春枝	市PTA連絡協議会書記	
○ 吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	家庭教育
◎ 岩野 秀俊	元日本大学生物資源科学部教授	学識経験者
浜田 弘明	桜美林大学教授	
藤本 正樹	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	
関 明	市民公募	市の住民
根岸 恵		

(3) 活動状況

回	開 催 日	お も な 内 容
第14期 5	7月11日(火)	・相模原市立博物館活動評価書について ・令和4年度博物館事業報告について ・令和5年度博物館事業計画について
第14期 6	11月9日(木)	・相模原市立博物館活動評価書について

第15期 1	令和6年2月2日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 相模原市立博物館協議会の概要、活動内容について 相模原市立博物館活動評価書について 今後の予定について
-----------	-------------	---

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9,999.48㎡
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5,081.03㎡
オ 延床面積	9,510.24㎡
カ 休館日	月曜日（休日に当たる日を除く） 休日の翌日（休日・日曜・土曜に当たる日を除く） 令和5年12月1日～令和6年2月29日（設備改修工事のため）
キ 開館時間	午前9時30分～午後5時

	用途・面積	主な室	内 容
観	展示スペース (1,907㎡)	自然・歴史展示室 (1,170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXAから借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近な資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サービスコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する参考図書等を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。	
観	研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース (1,570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。
観	管理・共用 スペース (3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	1階休憩コーナーや軽食のとれる2階喫茶コーナー、市史や図録の他博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

ク 博物館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応

月	博物館の対応と経過
5月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 8日(月) <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、「5類感染症」に移行したことにより、法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、自主的な取組をベースとした対応に変更した。 ・喫茶室の2人掛けとなっていたテーブル9台を4人掛けに復旧。 ・基本的感染対策として、引き続き手指衛生消毒を設置。 ・総合受付を除き飛沫防止用パーテーションを撤去 ・来館者の検温終了 ・自然・歴史展示室大谷家復元住居の観覧制限解除 ・常設展示室、大会議室、プラネタリウムのサーキュレーターによる強制換気終了

(2) 設備改修工事 (1,000万円以上)

- ・エレベーター2・3号機更新工事
工 期 令和5年6月12日～令和6年2月29日
- ・冷温水発生機等更新工事(その1)
工 期 令和5年6月30日～令和6年2月29日

(3) 施設管理業務委託 (委託料年間1,000万円以上)

- ・総合管理業務委託 (株)オーチャー 相模原支店
委託期間 令和3年6月1日～令和6年5月31日
- ・受付業務委託 (株)ギオン
委託期間 令和5年6月1日～令和8年5月31日
- ・プラネタリウム操作等業務委託 (株)東急コミュニティー
委託期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

(4) 消防訓練

- ・令和5年9月29日(金)
- ・令和6年3月29日(金)

4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	5年度予算額	6年度予算額	財源内訳	5年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	100	100	一般財源	100
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	547,655	634,324	一般財源	297,502
						特定財源	250,153
			計	547,755	634,424		547,755

博物館費

節		説 明			
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費			
		経費内訳	5年度	6年度	
01 報酬	265				
07 報償費	3,558	1 博物館協議会経費	290	270	
08 旅費	193	2 施設運営費	47,119	248,399	
10 需用費	98,152	(1) 資料収集保存経費	5,086	3,198	
11 役務費	855	(2) 資料調査研究経費	924	924	
12 委託料	179,504	(3) 展示・教育普及事業経費	3,295	3,931	
13 使用料及び賃借料	10,972	(4) プラネタリウム事業経費	37,452	36,484	
14 工事請負費	253,473	(5) プラネタリウム事業経費	0	203,500	
17 備品購入費	150	(債務負担行為)			
18 負担金、補助及び交付金	533	(6) その他運営費	362	362	
		3 施設維持管理費	239,539	243,219	
		4 博物館施設整備事業費	259,049	106,816	
合計	547,655	5 博物館施設整備事業費(継続費)	0	33,946	
		6 市史関連事業	23	23	
		7 一般事務費	1,635	1,651	
		合計	547,655	634,324	

Ⅲ 教育普及・学習支援

1 入館者数

(1) 令和5年度計 102,585人

(2) 総計 3,503,425人

(3) 詳細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	ナイトプラネ&観望	講演会講座等	企画展関連事業	観覧料	開館日数	1日平均
			一般投影	全天周映画	学習投影							
令和5年4月	7,556	2,377	1,326	884	167	3,157	119	180	30	¥760,310	26	291
5月	10,092	3,537	1,553	1,090	894	6,199	94	303	38	¥1,045,200	26	388
6月	9,789	3,355	1,311	1,034	1,010	4,490	89	330	247	¥925,290	24	408
7月	12,320	5,590	3,382	1,824	384	5,781	140	357	269	¥1,671,030	28	440
8月	17,201	8,431	5,300	3,114	17	11,399	97	1,352	53	¥2,517,760	30	573
9月	8,689	3,541	1,726	1,176	639	3,349	116	120	-	¥1,037,230	26	334
10月	10,827	5,109	2,076	1,273	1,760	3,807	132	148	223	¥874,870	26	416
11月	14,791	5,913	2,031	1,232	2,650	7,013	107	1,499	311	¥889,120	25	592
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和6年1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3月	11,320	4,460	2,581	1,430	449	2,411	119	1,143	-	¥1,053,950	26	435
令和5年度計	102,585	42,313	21,286	13,057	7,970	47,606	1,013	5,432	1,171	¥10,774,760	237	433

※設備改修工事のため、令和5年12月1日(金)～令和6年2月29日(木)休館

(参考) 開館からの総計

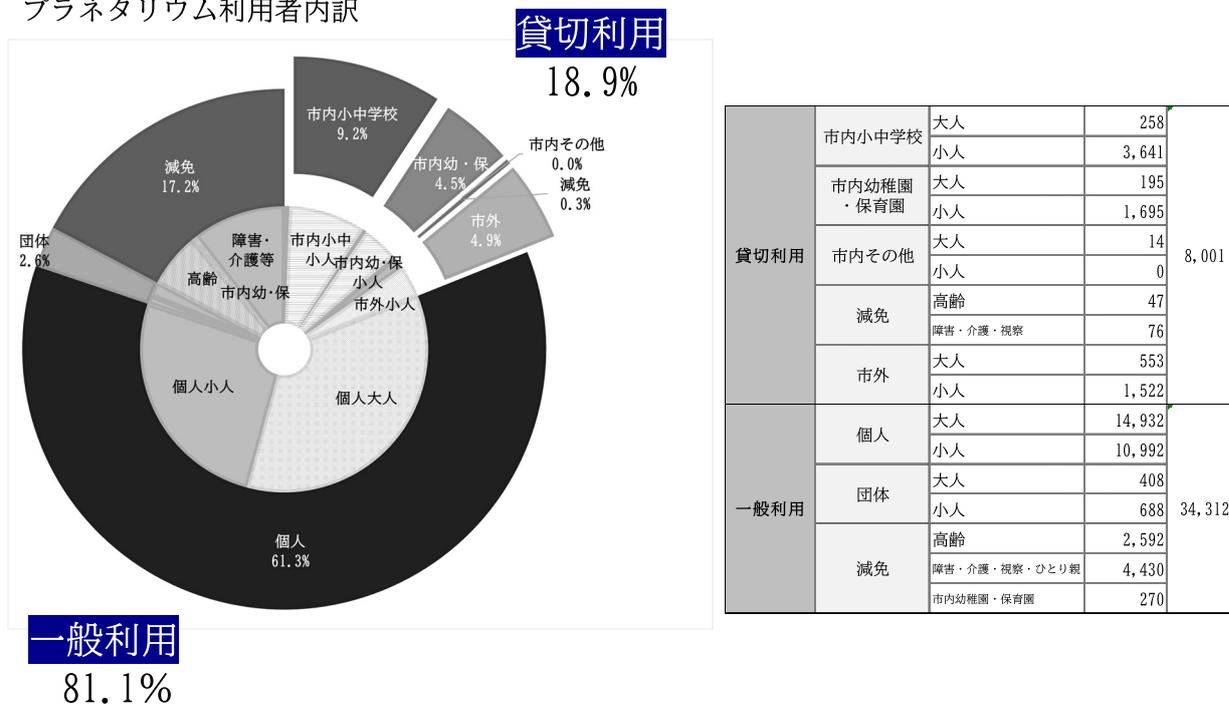
7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836		¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186		¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167		¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696		¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255		¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258		¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574		¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277		¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873		¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148		¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725		¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896		¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245		¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517		¥13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681		¥13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249		¥25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438		¥17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100		¥15,274,420	307	452
25年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114		¥15,334,880	306	453
26年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344		¥13,971,950	303	418
27年度	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884	71,865	1,685	10,114		¥14,303,490	304	435
28年度	125,194	54,814	26,506	17,075	11,233	68,283	1,615	12,167		¥14,568,880	303	413
29年度	137,996	59,245	24,038	23,530	11,677	72,876	1,588	16,941		¥15,673,280	304	454
30年度	136,450	56,530	27,025	18,639	10,866	73,069	1,681	11,841		¥14,551,270	304	449
令和元年度(※1)	138,573	55,195	22,585	21,901	10,709	78,289	1,343	8,962	2,594	¥13,999,290	278	498
2年度(※2)	49,770	14,323	6,816	5,942	1,565	15,275	-	1,542	-	¥4,433,660	195	255
3年度(※3)	83,550	25,700	12,295	8,383	5,022	47,727	15	5,667	3,045	¥7,478,550	256	326
4年度	123,193	48,147	22,154	14,738	11,255	63,194	461	3,685	1,285	¥12,839,320	304	405
5年度	102,585	42,313	21,286	13,057	7,970	47,606	1,013	5,432	1,171	¥10,774,760	237	433
総計	3,503,425	1,464,034	596,852	570,906	296,276	1,587,443	33,722	208,930	8,095	¥397,664,270	8,335	420

※1 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新

型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日（月）～31日（火）休館

- ※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日（水）～6月8日（月）及び令和3年1月13日（水）～3月21日（日）休館（「はやぶさ2」帰還カプセル世界初公開展示期間（3月12日（金）～3月16日（火））は往復はがきでの抽選による当選者にのみ公開）及び令和2年4月1日（水）～6月18日（木）プラネタリウム休止
- ※3 緊急事態宣言の発令に伴い、令和3年8月6日（金）～9月30日（木）休館

プラネタリウム利用者内訳



2 常設展示

常設展示は、「自然・歴史展示室」と「天文展示室」の2分野からなる。

「自然・歴史展示室」は、「川と台地と人々の暮らし」を全体テーマとし、「台地の生き立ち」、「郷土の歴史」（令和5年3月に郷土の偉人 尾崎行雄（喺堂）に関するミニコーナーを設置）、「暮らしの姿」、「人と自然のかかわり」、「地域の変貌」の5つのテーマに分けられている。相模原の自然・歴史について実物資料、レプリカ、映像、解説パネルなどにより学ぶことができる。

「天文展示室」は、「宇宙とつながる」をテーマに、宇宙の映像や隕石資料、太陽のライブ映像、JAXAとの連携展示などを通して、宇宙と自分をつなげて考える場を提供している。

3 展示

(1) 企画展（特別展示）（全7件）

	事業名	会期・実施日	来場者	内容・備考
1	考古企画展 「新発見！さがみはらの遺跡」	3/18(土) ～4/16(火)	2,458人	新たに収蔵された考古資料から、地域の歴史を紹介。
(1)	展示解説	4/9(日)	30人	講師 当館学芸員
2	地質企画展「石のステンドグラス2～偏光顕微鏡の世界～」	4/29(日) ～6/25(日)	11,388人	模様や色の美しい岩石や鉱物の偏光顕微鏡写真を展示。
(1)	地質企画展「石のステンドグラス2～偏光顕微鏡の世界～」展示解説	5/13(土)	11人	講師 当館学芸員
(2)	地質企画展「石のステンドグラス2～偏光顕微鏡の世界～」展示解説	5/28(日)	27人	講師 当館学芸員
(3)	地質企画展「石のステンドグラス2～偏光顕微鏡の世界～」展示解説	6/24(土)	13人	講師 当館学芸員
(4)	石を顕微鏡で見よう	6/11(火)	234人	顕微鏡観察用に作成した岩石薄片を偏光顕微鏡で観察した。 講師 当館学芸員
3	JAXA 連携企画展 「富士のある地球～火山を持つ太陽系天体たち～」	7/15(土) ～8/27(日)	17,180人	地上と宇宙から捉えた美しい富士山の姿や星景写真を展示するとともに、火山がある太陽系天体を取り上げ、それらの天体について JAXA が研究・開発を行っている探査機や衛星を紹介。
(1)	昼間の金星を見よう！	7/16(日)	269人	日中に天体観測室やテラスを解放し、金星の観望会を実施。 講師 当館学芸員
(2)	講演会「きっと火山は生命誕生のエネルギー源」	8/11(金)	53人	地球の火山と惑星や衛星の火山の違いと、太陽系天体の探査における火山観測の一面を紹介。 講師 山崎 敦さん(JAXA 宇宙科学研究所准教授)
4	第8回わお！な生きものフォトコンテスト作品展	9/9(土) ～10/9(月)	4,930人	(公財)日本自然保護協会とソニー(株)が進める「わお！わお！生物多様性プロジェクト」が開催するフォトコンテストの入賞作品展。
5	学習資料展「子どもの遊び いま・むかし」	10/21(土) ～11/30(木)	9,239人	博物館ボランティア「市民学芸員」との協働による企画展で、各時代のおもちゃ・遊び道具の変遷や子どもたちが遊ぶ姿を紹介。 協働 市民学芸員

令和5年度 相模原市立博物館 年報

(1)	冬の居間のジオラマで写真撮影 (全3回)	10/22(日) 11/5(日) 11/19(日)	延べ233人	市民学芸員が制作した昭和30～40年代の冬の居間を再現したジオラマ内で写真撮影会を実施。
(2)	ぶんぶんゴマで遊ぼう (全3回)	10/22(日) 11/5(日) 11/19(日)	延べ301人	ぶんぶんゴマを作って遊んでもらうイベントを実施。 講師 市民学芸員
6	「STOP! クリハラリス～特定外来生物の分布拡大を止めるために～」	R6/3/23(土) ～5/6(月)	2,411人	特定外来生物のクリハラリスに関する展示。
7	第9回「わお! な生きものフォトコンテスト作品展」	R6/3/23(土) ～5/6(月)	2,411人	(公財)日本自然保護協会とソニー㈱が進める「わお! わお! 生物多様性プロジェクト」が開催するフォトコンテストの入賞作品展。

(2) ミニ展示 (全16件)

	事業名	会期・実施日	期間中の入館者数	内容・備考
1	「日本の植物学の父、牧野富太郎」	4/1(土) ～5/31(水)	11,093人	日本の植物学の父、牧野富太郎についての展示。
(1)	トークショー「植物学に生涯を捧げて 牧野富太郎の足跡」	4/22(月)	155人	植物学に生涯を捧げた牧野富太郎についてのトークショー。
2	「五月人形」	4/11(火) ～5/14(日)	9,882人	博物館のエントランスに市民学芸員が所有している五月人形を展示。
3	「コクゾウムシが教えてくれた!～縄文土器研究最前線～」	7/1(土) ～9/3(日)	30,549人	市内で貯蔵植物の存在を示唆するコクゾウムシの昆虫圧痕土器が見つかったことから、その最新研究成果と研究方法を紹介。
(1)	あなたも考古学者!レプリカ法で土器に残された痕跡を探ろう 実演会 ワークショップ	8/5(土) 8/9(水) 8/20(日) 8/23(水)	11人 29人 43人 30人	「コクゾウムシが教えてくれた!～縄文土器研究最前線～」ミニ展示の関連事業として、土器のくぼみ(圧痕)に残された情報を読み取るワークショップ実施 講師 佐々木由香さん(金沢大学 古代文明・文化資源学研究所 考古科学部門 特任准教授) 協働 相模原縄文研究会、学生ボランティア
4	市史ミニ展示「津久井郡内郷村の民俗研究者郷土史家－鈴木重光コレクション－」	8/1(火) ～9/10(日)	20,100人	当館所蔵の鈴木重光コレクションについて、鈴木重光の業績や著作とその生涯を紹介。

令和5年度 相模原市立博物館 年報

5	博物館実習生展	8/20(日) ～11/30(木)	39,202 人	考古・民俗・生物・地質・天文分野の博物館実習生がまとめた実習成果を紹介。
6	神奈川県博物館協会かながわ震災100年プロジェクト「関東大震災と相模原」	9/16(土) ～11/30(木)	13,245 人	100年前に発生した関東大震災について、相模原に残る石造物や日記、証言集などをおして、関東大震災時の相模原を紹介。
7	市史ミニ展示「日露戦争と相模原地域の村々」	9/16(月) ～10/22(火)	12,908 人	当館所蔵の鈴木重光コレクションのうち、日露戦争に係る雑誌などを紹介。
8	「旧石器時代の狩りの道具 石槍」	10/1(日) ～11/30(木)	25,545 人	旧石器時代の狩りの道具である石槍を展示し、作り方や使い方を紹介。
9	ミニ企画展「憲政擁護運動と尾崎行雄（号堂）」	10/21(土) ～11/30(木)	18,631 人	尾崎行雄による「桂内閣弾劾演説」から110年の節目にちなんだミニ企画展。 講師大橋 孝夫さん (尾崎行雄を全国に発信する会 事務局長)
(1)	展示解説会	10/28(土)	2人	ミニ企画展に伴う展示解説会。
10	市史ミニ展示「柳田国男を支えた鈴木重光・長谷川一郎」	10/28(土) ～11/30(木)	15,992 人	当館所蔵の鈴木重光コレクションのうち柳田国男に係る手紙や絵はがきなどを紹介。
11	令和5年『宇宙の日』記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト館内受賞作品展	R6/3/1(金) ～R6/4/7(日)	11,280 人 (観覧者数は3/1～3/31)	全国小・中学生作文絵画コンテストにおいて、当館に応募のあった作品の館内受賞作品について展示。
12	「牧野富太郎博士の植物標本」	R6/3/1(金) ～R6/4/7(日)	11,280 人 (観覧者数は3/1～3/31)	牧野富太郎博士の植物標本の出張展示。
13	創立125周年記念展示「相模女子大学の歴史」	R6/3/1(金) ～R6/4/7(日)	11,280 人 (観覧者数は3/1～3/31)	相模女子大学の歴史の展示。
14	「出張！麻布大学いのちの博物館」	R6/3/1(金) ～R6/4/7(日)	11,280 人 (観覧者数は3/1～3/31)	麻布大学いのちの博物館の骨展示の一部を当館で展示。
15	新規収蔵資料お披露目展示「ツキノワグマ」	R6/3/1(金) ～当面の間	11,280 人 (観覧者数は3/1～3/31)	標本化したツキノワグマのはく製を展示。

令和5年度 相模原市立博物館 年報

16	「津久井城跡市民協働調査の調査成果展示」	R6/3/22(金) ~R6/6/30(日)	3,905人 (観覧者数は 3/22~3/31)	津久井城跡での市民協働調査による発掘調査に関して、令和4・5年の成果を紹介。
----	----------------------	---------------------------	--------------------------------	--

(3) 巡回・出張展示 (全12件)

	事業名	会期	期間中の入館者数	内容・備考
1	「相模原ふるさといろはかるた展」 会場：麻布大学いのちの博物館	1/23(月) ~5/9(火)	469人	市民学芸員が制作した「相模原ふるさといろはかるた」を展示。
2	NHK 大河ドラマ“どうする家康” 関連巡回ミニ展示「相模原にもあった!? 徳川家康ゆかりの地」 会場：吉野宿ふじや	4/22(土) ~5/28(日)	135人	市内を中心に、徳川家康やその祖先、重臣に関係するゆかりの地について紹介。
3	「相模原ふるさといろはかるた展」 会場：吉野宿ふじや	6/3(土) ~9/24(日)	252人	市民学芸員が制作した「相模原ふるさといろはかるた」を展示。
4	NHK 大河ドラマ“どうする家康” 関連巡回ミニ展示「相模原にもあった!? 徳川家康ゆかりの地」 会場：麻布大学いのちの博物館	6/5(月) ~7/28(金)	1,495人	市内を中心に、徳川家康やその祖先、重臣に関係するゆかりの地について紹介。
5	NHK 大河ドラマ“どうする家康” 関連巡回ミニ展示「相模原にもあった!? 徳川家康ゆかりの地」 会場：老人福祉センター若竹園	8/5(土) ~8/27(日)	1,115人	市内を中心に、徳川家康やその祖先、重臣に関係するゆかりの地について紹介。
6	NHK 大河ドラマ“どうする家康” 関連巡回ミニ展示「相模原にもあった!? 徳川家康ゆかりの地」 会場：れんげの里あらいそ	9/2(土) ~10/30(月)	412人	市内を中心に、徳川家康やその祖先、重臣に関係するゆかりの地について紹介。
7	「コクゾウムシが教えてくれた! ~縄文土器研究最前線~」 会場：麻布大学いのちの博物館	9/28(土) ~11/30(土)	2,985人	市内で貯蔵植物の存在を示唆するコクゾウムシの昆虫圧痕土器が見つかったことから、その最新研究成果と研究方法を紹介。
8	NHK 大河ドラマ“どうする家康” 関連巡回ミニ展示「相模原にもあった!? 徳川家康ゆかりの地」 会場：尾崎罎堂記念館	11/11(土) ~12/24(日)	123人	市内を中心に、徳川家康やその祖先、重臣に関係するゆかりの地について紹介。
9	「富士のある地球」 会場：麻布大学いのちの博物館	12/1(金) ~R6/1/31(水)	386人	ダイヤモンド富士やパール富士、星空と富士山の共演を画像や映像で紹介。

令和5年度 相模原市立博物館 年報

10	伊勢×相模原 尾崎弔堂記念館同時展 出張ミニ企画展「憲政擁護運動と尾崎行雄(弔堂)」 会場：尾崎弔堂記念館	R6/1/27(土) ～3/24(日)	184人	尾崎行雄による「桂内閣弾劾演説」から110年の節目にちなんだミニ企画展を出張展示した。伊勢市の尾崎弔堂記念館との連携による同時展。
11	「市民学芸員かわら版」 会場：麻布大学いのちの博物館	R6/2/1(木) ～4/26(金)	914人 (観覧者数は2/1～3/31)	市民学芸員が作成した「市民学芸員かわら版」のバックナンバーを展示。 ※入館者数はR6.3までのもの
12	「コクゾウムシが教えてくれた！～縄文土器研究最前線～」 会場：総合学習センター	R6/2/16(金) ～4/17(水)	6,019人 (観覧者数は2/16～3/31)	市内で貯蔵植物の存在を示唆するコクゾウムシの昆虫圧痕土器が見つかったことから、その最新研究成果と研究方法を紹介。

4 講座・講演会等

(1) 講演会 (全11件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	国際博物館の日 2023「博物館探検隊！」 講演会「宇宙は夢のまた夢の話なのか？」	5/13(土)	37人	JAXA 研究者による講演会 講師久保 勇貴さん (JAXA 航空プロジェクト研究員)
2	はやぶさ WEEK JAXA 研究者による特別講演会 「はやぶさ「打ち上げから20年を振り返る」	6/11(日)	141人	「はやぶさの日」を記念した JAXA 研究者による講演会 講師吉川 真さん (元「はやぶさ2」ミッションマネージャ)
3	アステロイドデー2023 スペシャルトーク	7/1(土)	45人	6月30日の「小惑星の日」を記念し、日本スペースガード協会や JAXA 等の研究者が講演し、インターネット配信も実施。 講師 坂本尚義さん (北海道大学理学研究院) 吉川真さん、尾崎直哉さん (JAXA 宇宙科学研究所) 二村徳宏さん (日本スペースガード協会) 主催 日本スペースガード協会 共催 博物館 協力 JAXA・国立天文台・日本惑星協会・宮城県角田市・(公財)角田市地域振興公社・星空公園

令和5年度 相模原市立博物館 年報

4	麻布大学いのちの博物館×相模原市立博物館連携記念講演会「都市とヒトと動物」	7/9 (日)	58人	「都市とヒトと動物」に関する講演会を実施。 講師 島津徳人さん (麻布大学教授、いのちの博物館館長) 当館学芸員
5	国際お月見ナイト	10/21 (土)	64人	NASA が主導する「国際お月見ナイト」の関連事業として、JAXA 研究者による講演会や月の観望会などを実施。 講師 坂井 真一郎さん (JAXA 宇宙機応用工学研究系教授) 澤井 秀次郎さん (JAXA 宇宙飛翔工学研究系教授) 吉光 徹雄 (JAXA 宇宙機応用工学研究系教授) ほか
6	カプセル帰還3周年&プラネタリウム100周年記念はやぶさ2拡張ミッション拡大イベント	12/3 (日)	104人	小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセル帰還3周年を記念し、講演会を実施。 講師 橘 省吾さん (東京大学教授) 三桝 裕也さん (はやぶさ2拡張ミッション運用リーダー) ほか 主催 プラネタリウム100周年記念事業実行委員会 (日本プラネタリウム協議会)、はやぶさ2拡張ミッションチーム 共催 博物館
7	研究機関等公開講座 JAXA コース「SLIM よ、今こそ月へ! ~日本初の月面着陸への挑戦~」	11/12 (日)	60人	生涯学習センターが開催する研究機関等公開講座 JAXA コースにおいて、JAXA 研究者による講演を実施。 講師 佐伯 孝尚さん (JAXA 学際科学研究系教授) 連携 生涯学習センター・博物館

令和5年度 相模原市立博物館 年報

8	第5回宇宙フェスタさがみはら「宇宙落語&スペシャルトーク」	R6/3/3(日)	195人	<p>落語家の桂 福丸さんによる宇宙を題材にした落語や JAXA 宇宙科学研究所の研究者らと交えたトークショーを開催。</p> <p>出演桂 福丸さん(落語家) 坂井 真一郎さん(SLIM プロジェクトマネージャ) 前島 弘則さん(XRISM プロジェクトマネージャ)</p> <p>主催宇宙フェスタさがみはら実行委員会(読売新聞横浜支局、にこにこ星ふちのべ商店会、桜美林大学、相模原市民文化財団、相模原市、相模原市教育委員会)</p> <p>協力JAXA 宇宙科学研究所</p>
9	第5回宇宙フェスタさがみはら「星空さんぽ(ミニテーマ:XRISM)と座談会 in プラネタリウム」	R6/3/3(日)	126人	<p>プラネタリウム番組「星空さんぽ(ミニテーマ:XRISM)」を観覧後、落語家の桂 福丸さんと JAXA 宇宙科学研究所の研究者による座談会を開催。</p> <p>出演桂 福丸さん(落語家) 坂井 真一郎さん(SLIM プロジェクトマネージャ) 前島 弘則さん(XRISM プロジェクトマネージャ)</p> <p>主催宇宙フェスタさがみはら実行委員会(読売新聞横浜支局、にこにこ星ふちのべ商店会、桜美林大学、相模原市民文化財団、相模原市、相模原市教育委員会)</p> <p>協力JAXA 宇宙科学研究所</p>
10	近現代史講演会「渋沢栄一の近代産業育成～『忠恕』と『公益』～」	R6/3/10(日)	42人	<p>NHK 大河ドラマや新一万円札の肖像として話題の、渋沢栄一の人物像や業績について紹介。</p> <p>講師河田 重三さん (渋沢栄一記念館 資料解説員)</p>
11	民俗学講演会「アマビエと江戸時代の妖怪」	R6/3/17(日)	48人	<p>近年注目されている「妖怪」の伝承について、妖怪研究で活躍されている常光徹氏による講演会を開催。</p>

(2) 講座 (全6件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	中央地区 「子どもと大人共に学ぶ宇宙教室」公開講座①	7/30(日)	97人	同教室のプログラムであるJAXA 職員を講師に招いた講演を公開講座として実施。
	中央地区 「子どもと大人共に学ぶ宇宙教室」公開講座②	11/11(土)	70人	講師 國中 均さん (JAXA 宇宙科学研究所所長) 塩谷 圭吾 (JAXA 宇宙科学研究所准教授)
	中央地区「子どもと大人共に学ぶ宇宙教室」閉校式& JAXA・プラネタリウム見学	R6/3/9(土)	62人	大川 拓也さん (元 JAXA 宇宙科学研究所 宇宙科学広報担当) 主催 中央地区宇宙教室実行委員会 共催 博物館・中央地区自治会連合会・中央地区社会福祉協議会・中央地区青少年健全育成協議会 後援 国民生活センター・中央区役所、JAXA
2	「XRISM」・「SLIM」 打上げ生配信パブリックビューイング	8/28(月) 9/7(木) (打ち上げ延期)	41人 46人	JAXA 宇宙科学研究所が開発したX線分光撮像衛星 XRISM と小型月着陸実証機 SLIM を載せた H-II A ロケット 47 号機の打ち上げ中継 (YouTube 配信) を利用し、パブリックビューイングを実施したものの。 連携 観光・シティプロモーション課・博物館
3	考古学講座「古代の田名塩田を探る」 (全2回)	9/6(水) 9/16(土)	15人 11人	田名塩田周辺の古墳～平安時代について講義し、現地を探訪したものの。
4	JAXA 特別公開 JAXA のお仕事を見てみよう ～先輩女性が語る理系キャリアのリアル～	11/3 (金)	92人	JAXA 相模原キャンパスで働く女性職員等の仕事や、これまでどういったキャリアを歩んできたかをわかりやすく紹介。 主催 JAXA 宇宙科学研究所 共催 相模原市／相模原市教育委員会 (博物館)
5	JAXA 特別公開 ISAS の学生を見てみよう!	11/3 (金)	120人	JAXA 相模原キャンパスでの学生生活の魅力について、学生たちが研究から日常までを紹介。 主催 JAXA 宇宙科学研究所 共催 相模原市／相模原市教育委員会 (博物館)
6	第5回宇宙フェスタさがみはら「市民学芸員による宇宙紙芝居」	R6/3/3 (日)	148人	紙芝居を実施。

(3) 体験学習 (全11件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	国際博物館の日「くずし字を読んでみよう」	5/14 (日)	26人	「くずし字」の成り立ちや掛軸の取扱いについて、当館学芸員が解説。
2	国際博物館の日「縄文人になっちゃおう！」	5/20 (土)	100人	縄文服のレプリカを試着し、縄文土器などを持ちながら写真撮影。
3	国際博物館の日「バックヤードツアー」	5/20 (土)	64人	博物館の裏側を見学するバックヤードツアーを実施。
4	土器×2タッチ	6/24 (土) 7/22 (土) 8/26 (土) 9/24 (日) 9/30 (月) 10/28 (土) 11/25 (土) R6/3/23 (土)	105人 98人 111人 50人 53人 61人 126人 154人	市内遺跡から出土した縄文土器、石器、土師器・須恵器を実際に触り、遺跡を身近に感じてもらう体験を行った。
5	親子天文教室「手作り望遠鏡で月を見よう！」	7/22 (土)	45人	口径4cm天体望遠鏡の制作キットを用いて、保護者と子どもで手作り望遠鏡を作成し、実際に観察を行った。 講師 当館学芸員
6	いろいろな砂を顕微鏡で見よう	8/4 (金)	134人	日本各地や海外の砂を顕微鏡で観察した。鳴き砂体験や実物入り砂カードの作成も行った。
7	「相模原の台地のでき方」実演	8/5 (土) 8/6 (日)	105人 184人	「探検！発見！クイズラリー2023」の関連イベントとして、市民学芸員がパフォーマンスを行った。 協働 市民学芸員
8	JAXA 特別公開 ルナクラフトを体験しよう	11/3 (金)	191人	マインクラフトの月面版「ルナクラフト」で月を冒険！ 主催 JAXA 宇宙教育センター 共催 相模原市／相模原市教育委員会 (博物館) 協力 NASEF JAPAN/THIRDWAVE
9	JAXA 特別公開 うちゅっぴんぐ ～プロジェクションマッピングで魅せる宇宙～	11/3 (金)	300人	「宇宙×プロジェクションマッピング」をテーマとした作品を展示。 主催 JAXA 宇宙科学研究所 共催 相模原市／相模原市教育委員会 (博物館)
10	博物館×若あゆ 宇宙&野外炊事イベント	11/25 (土)	33人	博物館でプラネタリウム鑑賞と昼間の星の観望を行った後、若あゆで野外炊事天体観望を実施。 連携 博物館・相模川自然の村体験教室

令和5年度 相模原市立博物館 年報

11	令和5年度「宇宙に飛び出せ！中央区こどもカレッジ」	R6/3/16(土)	186人	博物館を会場に月面探査ロボット(模型)によるレースや昼間の観望会、宇宙食体験やJAXA研究者の講義を開催。 講師 梶谷 伊織さん(JAXA 月惑星探査データ解析グループ) 株式会社 amulapo 株式会社 e-Craft 当館学芸員 主催 相模原市中央区役所 共催 博物館 協力 JAXA 宇宙科学研究所
----	---------------------------	------------	------	---

(4) 展示解説 (全1件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	学芸員による展示解説(全2回)	R6/3/24(日)	延べ38人	自然・歴史展示室で当館学芸員が展示解説した。

(5) 観察・探訪会 (全1件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	生きものミニサロン(全11回)	4/15(土) ~R6/3/16(土) (月1回土曜日に開催)	延べ325人	博物館周辺や館内で身近な自然観察をしたり、ゲーム形式で生きもの探しなどを行った。

(6) 観望会 (全4件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	ナイトプラネタリウム&観望(全18回)	4/16(土) ~R6/3/17(土) (月1回開催)	延べ1,013人	当日の星空などを解説するプラネタリウム生解説番組を観覧後、天体観測室にある口径40cmの大型望遠鏡などを使い、見ごろの天体を観望。 講師 当館学芸員 プラネタリウム解説員 市民学芸員
2	国際博物館の日2023「博物館探検隊！」「昼間の金星観望会」	5/13(土)	52人	日中に天体観測室を解放し、金星の観望会を実施。 講師 当館学芸員
3	はやぶさWEEK 昼間の金星観望会	6/18(日)	66人	日中に天体観測室を解放し、金星の観望会を実施。 講師 当館学芸員
4	第5回宇宙フェスタさがみはら「昼間のプチ観望会」	R6/3/3(日)	129人	日中に天体観測室を解放し、金星の観望会を実施。 講師 当館学芸員

(7) クイズラリー (全1件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	探検！発見！クイズラリー 2023	8/4(金) ～8/6(日)	延べ623人	展示資料にまつわるクイズラリーを実施。 協働 市民学芸員

(8) 成果発表会 (全3件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	学びの収穫祭 (展示)・ 学びの収穫祭 (ワーク ショップ「土器の模様を写 しとろう!」)	11/18(土) ～11/30(木) ※ワークショップは 11/18(土) のみ	5,534人 (期間中の 入館者数) ※ワークショップ 参加人数は21人	博物館のボランティアグループ 及び関連の団体、個人等が日頃 の研究成果や活動状況をポス ター形式で発表。
2	学びの収穫祭(口頭発表会)	11/18(土)	135人	博物館のボランティアグループ 及び関連の団体、個人等が日頃 の研究成果や活動状況の口頭発 表会を行った。
3	学びの収穫祭 (学芸員講演 会)・ 学びの収穫祭 (ワーク ショップ「USB デジタル顕微 鏡を生物顕微鏡として使っ てみよう」)・ 学びの収穫祭 (ワーク ショップ「土器の模様を写 しとろう!」)・ 学びの収穫祭 (ワーク ショップ「昼間の星空観望 会」)	11/19(日)	36人 27人 50人 118人	当館天文分野の学芸員による講 演会を行った。 相模原植物調査会、相模原縄文 研究会、相模原市立博物館天文 クラブによるワークショップを 行った。

5 広報等その他事業

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	独楽プレゼント・兜写真撮 影 (ミニ展「五月人形関連 事業」)	5/5 (金)	180人	市民学芸員が手作りした独楽 のプレゼント及び、五月人形 の前で、市民学芸員制作の兜 をかぶっての写真撮影を実 施。
2	はやぶさWEEK2023 in 相模 原市立博物館「チェキ撮影 会」	6/17 (土)	42人	チェキ撮影会を実施。
3	はやぶさWEEK2023 in 相模 原市立博物館「銀河連邦 ヒーロー大集結!」	6/18 (日)	160人	はやぶさに関する様々なイベ ントを実施。
4	博物館 de 星まつり! 七夕でワッショイ!			七夕や星に関するさまざまな イベントを実施。
(1)	星のストラップ作り	7/1(土)	64人	ワークショップを実施し、自 分だけの星のストラップ作り を実施。
(2)	チェキ撮影会	7/2(日)	24人	七夕らしい記念撮影コーナー でチェキ撮影会を実施。

令和5年度 相模原市立博物館 年報

5	宇宙に恋するときめきコラボ「レオと三日月」コラボレーションイベント	7/4(火) ～8/31(木)	28,148人 (期間中の入場者数)	少女漫画「レオと三日月」コラボレーションイベント
6	「荻野目洋子の虫はともだち season II」ロケ地紹介展示	7/21(金) ～8/27(日)	21,438人 (期間中の入場者数)	J:テレ放送の番組ロケ地となった木もれびの森と勝坂遺跡公園の自然を紹介する展示。
7	博物館 de 夏まつり! 伝統的七夕でワッショイ!			伝統的七夕や星に関するさまざまなイベントを実施。
(1)	映えるフォトスポット	8/16(水) ～8/22(火)	4,044人 (期間中の入場者数)	映えるフォトスポットを設置。
(2)	チェキ撮影会	8/19(土)	19人	記念撮影コーナーでチェキ撮影会を実施。
(3)	星のストラップ作り	8/20(日)	75人	ワークショップを実施し、自分だけの星のストラップ作りを実施。
8	タブレット純プラネタリウムコンサート「タブ純プラネタリウムナイト～銀河に抱かれて～」	8/30(水)	206人	相模原市名誉観光親善大使を務めるタレントのタブレット純さんがプラネタリウムで凱旋公演を開催。
9	博物館×市民会館 プラネタリウム オータムコンサート	10/11(水)	210人	市民会館開催のランチタイムコンサートに出演している演奏者による特別プログラムを開催。 主催博物館・市民会館
10	朗読プラネタリウム「蠍座カレンダー」	11/23(木)	203人	プラネタリウムの多目的利用として、星空解説と朗読のコラボレーションイベントを開催。
11	古民家でおひな様 春のおでかけスタンプラリー2024	R6/2/10(土) ～3/3(日)	480人※ (吉野宿ふじや)	吉野宿ふじや、古民家園、小原宿本陣、旧石器ハテナ館、小原の郷、相模田名民家資料館の6施設でのスタンプラリー。 連携博物館・文化財保護課・相模湖まちづくりセンター
12	第5回宇宙フェスタさがみはら			宇宙に関する講演会やワークショップなどのイベントの実施
(1)	「宇宙飛行士訓練服(レプリカ)記念撮影コーナー」	R6/3/3(日)	161人	宇宙飛行士訓練服(レプリカ)を着て記念撮影を実施。
(2)	「月のレジンチャーム作り」	R6/3/3(日)	20人	ワークショップを実施し、自分だけの月のレジンチャーム作りを実施。

(3)	「星のストラップ作り」	R 6/3/3 (日)	117人	ワークショップを実施し、自分だけの星のストラップ作りを実施。
13	春宵 ほしぞらコンサート	R 6/3/10 (日)	215人	プラネタリウムで星空を見上げながら、和楽器の生演奏を行う特別プログラムを開催。 出演 あさきゆめみし
14	プラネタリウム de ベビーヨガ	R 6/3/12 (火)	26人	プラネタリウムの多目的利用、子育て支援事業として親子ヨガイベントを開催。
15	朗読プラネタリウム Vol.2 「うそつき男のおはなし」	R 6/3/20 (水)	177人	プラネタリウムの多目的利用として、星空解説と朗読、ピアノ演奏のコラボレーションイベントを開催。

6 プラネタリウム・全天周映画

※令和5年12月1日(金)～令和6年2月29日(木)は臨時休館のため、投影休映

(1) 投影等開始時間

平日(火～金(特別上映期間を除く))

午後 2時30分・午後4時

土・日・祝日及び特別上映期間

午前10時30分・午後1時・午後2時30分・午後4時

(2) 一般投影

星空さんぽ

内容 解説員による季節の星空解説と各月入替えのミニテーマで構成(所要約40分)

春

4月「消えた星座たち」

5月「富士山と太陽・月・星」

夏

6月「『はやぶさ』の打ち上げ」

7月「七夕と天の川」

8月「流星群」

秋

9月「お月見」

10月「プラネタリウム100周年」

11月「オーロラ」

冬

12月 投影なし(臨時休館のため、プラネタリウム休映)

1月 投影なし(臨時休館のため、プラネタリウム休映)

2月 投影なし(臨時休館のため、プラネタリウム休映)

3月(令和6年)「X線分光撮像衛星 XRISM」

こどもプラネタリウム

ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)

イ 番組 ①プラネタリウムで宇宙たんけん!(春)～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
3月4日(土)～5月28日(日)

②プラネタリウムで宇宙たんけん!(夏)～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
6月3日(土)～8月27日(日)

③プラネタリウムで宇宙たんけん!(秋)～ナゾの宇宙人からのメッセージ～

9月2日(土)～11月26日(日)

- ④プラネタリウムで宇宙たんけん!(春)～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
令和6年3月2日(土)～5月26日(日)

全天周映画

- ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映
イ 番組 ①宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム
(同時上映「まくまくんの星空大冒険」)
4月1日(土)～令和6年3月31日(日)
②富士の星暦
4月1日(土)～9月30日(土)
③0dyssey～果てしなく美しい宇宙～
(同時上映「まくまくんの星空大冒険」)
10月1日(日)～令和6年3月31日(日)

(3) プラネタリウム特別上映

- ア 内容 学校の春・夏の時期は、特別上映期間として毎日4回投影・上映した。また、「はやぶさWEEK」期間や JAXA 相模原キャンパス特別公開では、小惑星探査機「はやぶさ」の全天周映画を期間限定で上映した。
①春休み特別上映期間
4月1日(土)～4月6日(木)、
令和6年3月23日(土)～3月31日(日)
②夏休み特別上映期間
7月21日(金)～8月27日(日)
③はやぶさWEEK
HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョンDC版
6月11日(日)～6月18日(日)
④JAXA 相模原キャンパス特別公開
HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョンDC版
11月3日(金・祝)

(4) おためしタイム(無料)

- ア 内容 日曜日・祝日の正午から「おためしタイム」として無料で約10分間の番組を投影
※委託業者による提案事業
イ 実施日 日曜日・祝日
ウ 参加者 延べ 2,020人(計51回投影)

(5) 学習・幼児向け投影

- ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
イ 番組 小中学校向け 小学校第4学年「空を見上げると(夏・冬)」
小学校第6学年「月の形と太陽の素顔(夏・冬)」
中学校第3学年「宇宙への旅」
幼児向け 「リーベルタース天文台だより」(春・夏・秋・冬)
「ピーターパンのぼうけん」
「ピーターパンとほしのくにへいこう!」
「ワクワクさがぼん! 惑星めぐり」
「おしえて! さがぼん お月さまってなあに?」
「プラネタリウムで宇宙たんけん!」(春・夏・秋・冬)
ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回投影

(6) 広報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し館内に掲示した。また、淵野辺駅に掲示する他、博物館ホームページや広報さがみはらに番組内容を掲載した。

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

ア 企画展(特別展示)のポスター・パンフレット等
 ※ポスター一覧は53頁参照

イ 相模原市立博物館イベントニュース
 (4~11月号、3月号)

ウ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等

エ 相模原市立博物館研究報告 第32集

(2) 有償刊行物一覧(令和6年3月31日現在)

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 317,400 円

①博物館 図録・報告書等売上
 合計 292冊 59,250 円

ア 特別展・企画展図録等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7.11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8.2	完売
相模原の昆虫ー身近にいる小さな仲間たちー	¥350	H 8.4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8.11	完売
絵図から地形図へー近代地形図の誕生と発展ー	¥2,550	H 9.7	完売
太陽系ー母なる太陽とその家族を巡るー	¥700	H 9.11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10.9	完売
水生昆虫の世界ー水の中の小さな虫たちー	¥1,200	H 11.7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11.10	完売
花を描き、花を知るー植物画の魅力ー	¥1,200	H 12.7	完売
幕末・維新の相模原ー村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たちー	¥1,500	H 12.10	完売
星の測量ー角度をはかり、位置をもとめるー	¥700	H 13.7	13
“道”再発見ー道の役割とその移りかわりー	¥1,500	H 13.10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14.7	5
水晶ってすばらしい!ーその美と実用の魅力ー	¥1,000	H 15.7	0
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16.7	2
相模原ーその開発と変貌ー	¥800	H 16.10	9
地球46億年	¥900	H 17.7	9
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18.10	完売
合計		¥29,900	38

※「晃嶺の百花譜」及び「相模原ーその開発と変貌ー」の売上冊数のうち、各1冊は市役所行政資料コーナーで売り上げたもの。

イ 報告書等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
研究報告第7集 1999	¥850	H 10.3	完売
研究報告第8集 2000	¥850	H 11.3	完売
研究報告第9集 2001	¥900	H 12.3	完売
研究報告第10集 2002	¥900	H 13.3	完売
研究報告第11集 2002	¥850	H 14.3	完売
研究報告第12集 2003	¥900	H 15.3	0
研究報告第13集 2004	¥900	H 16.3	0
研究報告第14集 2005	¥900	H 17.3	0
研究報告第15集 2006	¥1,050	H 18.3	0
研究報告第16集 2007	¥1,150	H 19.3	1
研究報告第17集 2008	¥1,150	H 20.3	1
研究報告第18集 2009	¥700	H 21.3	0
研究報告第19集 2010	配布のみ	H 22.3	-

令和5年度 相模原市立博物館 年報

研究報告第20集 2012	配布のみ	H	24.3	-
研究報告第21集 2013	配布のみ	H	25.3	-
研究報告第22集 2014	配布のみ	H	26.3	-
研究報告第23集 2015	配布のみ	H	27.3	-
研究報告第24集 2016	配布のみ	H	28.3	-
研究報告第25集 2017	配布のみ	H	29.3	-
研究報告第26集 2018	配布のみ	H	30.3	-
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H	10.3	完売
地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H	12.3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H	13.3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H	14.3	3
資料目録4 テフラ標本目録	¥850	H	15.3	0
資料目録5 相模原植物誌Ⅰ	¥600	H	15.3	0
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H	17.3	0
博物館所蔵古文書目録	¥900	H	17.3	0
境川流域民俗調査報告書	¥500	H	17.3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H	20.3	0
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H	21.5	13
大日野原遺跡資料調査報告書	¥720	H	31.3	5
津久井城跡資料調査報告書	¥1,820	R	2.3	4
合計			¥17,320	27

※「相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗」の売上冊数のうち1冊、「津久井城跡資料調査報告書」の売上冊数のうち2冊は市役所行政資料コーナーで売り上げたもの。

ウ 展示解説書

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
常設展示解説書	¥1,000	H 8.11	完売

エ 相模原市立博物館開館25周年記念ポストカード

絵葉書名	販売価格	発行年月	売上数量
ポストカード(相模原市立博物館)	¥30	R 2.11	28
ポストカード(相模原市緑区青野原上空からみた道志川)	¥30	R 2.11	13
ポストカード(相模津久井城図 但古城)	¥30	R 2.11	9
ポストカード(毛羽取機)	¥30	R 2.11	4
ポストカード(エナガの巣立ちピナ)	¥30	R 2.11	28
ポストカード(勝坂式土器)	¥30	R 2.11	42
ポストカード(相模原市立博物館プラネタリウム)	¥30	R 2.11	74
ポストカード(7枚セット)	¥210	R 2.11	29
合計			¥12,030 227

合計	¥59,250	292
----	---------	-----

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 127冊 258,150 円

ア 相模原市史

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模原市史 第1巻 (中世以前通史)	¥2,300	S 39.11	3
相模原市史 第2巻 (近世通史)	¥3,400	S 42.3	1
相模原市史 第3巻 (近代通史)	¥2,800	S 44.2	1
相模原市史 第4巻 (現代通史)	¥3,200	S 46.3	1
相模原市史 第5巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S 40.11	1
相模原市史 第6巻 (近代資料集)	¥3,200	S 43.2	2
相模原市史 第7巻 (別編)	¥1,900	S 47.3	1
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16.11	9
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20.3	2
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21.5	5

令和5年度 相模原市立博物館 年報

相模原市史	民俗編	¥2,550	H	22.3	1
相模原市史	民俗編DVD版	¥1,550	H	22.3	3
相模原市史	現代通史編	¥2,100	H	23.3	4
相模原市史	考古編	¥2,650	H	24.3	12
相模原市史	現代テーマ編	¥2,310	H	26.3	6
相模原市史	文化遺産編	¥3,060	H	27.3	4
相模原市史	近代資料編	¥3,240	H	29.5	4
相模原市史	別編	¥1,690	H	30.2	2
相模原市史	別編CD版	¥920	H	30.2	1
相模原市史ノート	創刊号	¥350	H	16.3	1
相模原市史ノート	第2号	¥700	H	17.3	1
相模原市史ノート	第3号	¥600	H	18.3	1
相模原市史ノート	第4号	¥600	H	19.3	1
相模原市史ノート	第5号	¥600	H	20.3	1
相模原市史ノート	第6号	¥700	H	21.3	1
相模原市史ノート	第7号	¥700	H	22.3	1
相模原市史ノート	第8号	¥650	H	23.3	3
相模原市史ノート	第9号	¥700	H	24.3	2
相模原市史ノート	第10号	¥700	H	25.3	6
相模原市史ノート	第11号	¥700	H	26.3	3
相模原市史ノート	第12号	¥700	H	27.3	2
相模原市史ノート	第13号	¥700	H	28.3	4
相模原市史ノート	第14号	¥720	H	29.3	2
相模原市史ノート	第15号	¥760	H	30.3	5
相模原市史調査報告書1	旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H	19.3	1
相模原市史調査報告書2	動植物調査目録	¥2,400	H	21.3	0
相模原市史調査報告書3	相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化史	¥1,500	H	21.3	0
相模原市史調査報告書4	相模原市地域の第4紀地史研究のための指標テフラ(火山灰)	¥2,300	H	21.3	0
相模原市史調査報告書5	縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H	21.3	1
相模原市史調査報告書6	勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H	22.3	2
相模原市史調査報告書7	当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H	23.3	0
合 計				¥186,200	101

イ 城山町史

書 名		販売価格	発行年月	売上冊数	
城山町史1	資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4.3	0	
城山町史2	資料編 近世	¥6,000	H 2.3	1	
城山町史3	資料編 近現代	¥7,000	H 5.3	0	
城山町史4	資料編 民俗	¥5,150	S 63.3	0	
城山町史5	通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7.3	0	
城山町史6	通史編 近世	¥3,500	H 9.3	0	
城山町史7	通史編 近現代	¥3,500	H 9.3	0	
城山風土記1	近現代編	¥600	H 3.3	0	
城山風土記2	近世文書を読むために	¥700	H 6.3	0	
城山風土記3	九十歳の雑記帳	¥600	H 7.3	0	
城山風土記4	歴史・民俗編	¥600	H 8.8	1	
城山風土記5	町の歩みをふりかえる	¥600	H 9.3	0	
城山町史資料所在目録	近世文書	¥3,600	S 60.3	1	
城山町史資料所在目録	近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S 61.12	1	
城山町史新聞記事目録		¥1,200	S 62.3	0	
町史の窓(復刻版)		¥1,100	H 18.3	0	
合 計				¥13,100	4

ウ 津久井町史

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
津久井町史 資料編 近世1	¥2,000	H 16.3	0
津久井町史 資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H 19.3	0
津久井町史 資料編 近代・現代	¥3,150	H 21.2	2
津久井町史 資料編 近世2	¥3,550	H 23.3	1
津久井町史 自然編	¥3,690	H 25.3	2
津久井町史 通史編 近世・近代・現代	¥2,720	H 26.3	2
津久井町史 通史編 原始・古代・中世	¥2,620	H 28.3	3
津久井町史 文化遺産編	¥4,060	H 30.3	1
ふるさと津久井 第1号	¥1,000	H 12.3	完売
ふるさと津久井 第2号 特集 山に生きる	¥1,000	H 13.3	完売
ふるさと津久井 第3号 (特別号) 津久井の古地図	¥1,000	H 14.3	完売
ふるさと津久井 第4号 特集 養蚕と織物(1)	¥1,000	H 15.9	完売
ふるさと津久井 第5号 特集 養蚕と織物(2)	¥750	H 24.3	1
ふるさと津久井 第6号	¥820	H 26.3	0
ふるさと津久井 第7号	¥790	H 29.3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」	¥1,700	H 16.3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」	¥1,500	H 20.3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」	配布のみ	H 24.3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」 CD版	配布のみ	H 24.3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」	配布のみ	H 24.3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」 CD版	配布のみ	H 24.3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の動物」	¥720	H 25.2	1
津久井町史調査報告書「津久井町の気象」	¥1,840	H 25.2	0
津久井町史資料目録 公文書1	¥2,300	H 22.3	0
津久井町史資料目録 公文書2	¥1,700	H 24.3	0
津久井町史資料叢書 事務報告1	¥1,850	H 22.3	0
津久井町史資料叢書 事務報告2	¥1,850	H 22.3	0
合計		¥40,050	16

エ 相模湖町史

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模湖町史 歴史編	¥14,000	H 13.3	0
相模湖町史 民俗編	¥5,600	H 19.2	1
相模湖町史 自然編	¥11,550	H 20.2	0
合計		¥5,600	1

オ 藤野町史

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
藤野町史 資料編上	¥3,000	H 6.3	0
藤野町史 資料編下	¥3,000	H 6.3	0
藤野町史 通史編	¥4,000	H 7.3	3
ふじの町史 研究誌 (第1号)	¥600	H 2.3	完売
ふじの町史 研究誌 (第2号)		H 4.2	完売
ふじの町史 研究誌 (第3号)	¥600	H 5.3	2
ふじの町史 研究誌 (第4号)		H 6.2	完売
ふじの町史 研究誌 (第5号)	¥600	H 8.3	0
合計		¥13,200	5

(3) 広報活動

ア ポスター・チラシ掲示

前述の各ポスター・チラシを市各機関・近隣博物館・相模大野パブリックインフォメーション所管課等へ送付し、掲示・配架を依頼するとともに、淵野辺駅等に掲示した。

イ 記事提供

広報さがみはらや相模原記者クラブなどの新聞・雑誌・タウン紙等のメディアイベント情報を提供した。また、タウン紙「タウンニュース」中央区版のシリーズ「博物館の資料から相模原を学ぶ」に学芸員が資料紹介の寄稿を行った。

ウ 放送番組

NHK、J：COM、FM HOT 839など、博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

エ 博物館資料の博物館外での常設展示

考古資料を史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館、史跡勝坂遺跡公園管理棟、国立歴史民俗博物館、津久井湖城山公園に年間を通じて貸出して展示に協力した。民俗資料を国立民族学博物館に年間を通じて貸出して展示に協力した。

オ 博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどによる発信

各種事業のPRや周知を博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどにより広く発信した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格取得のために実習として、8月1日（火）～9月24日（日）の内、実質9日間に17大学から延べ20人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

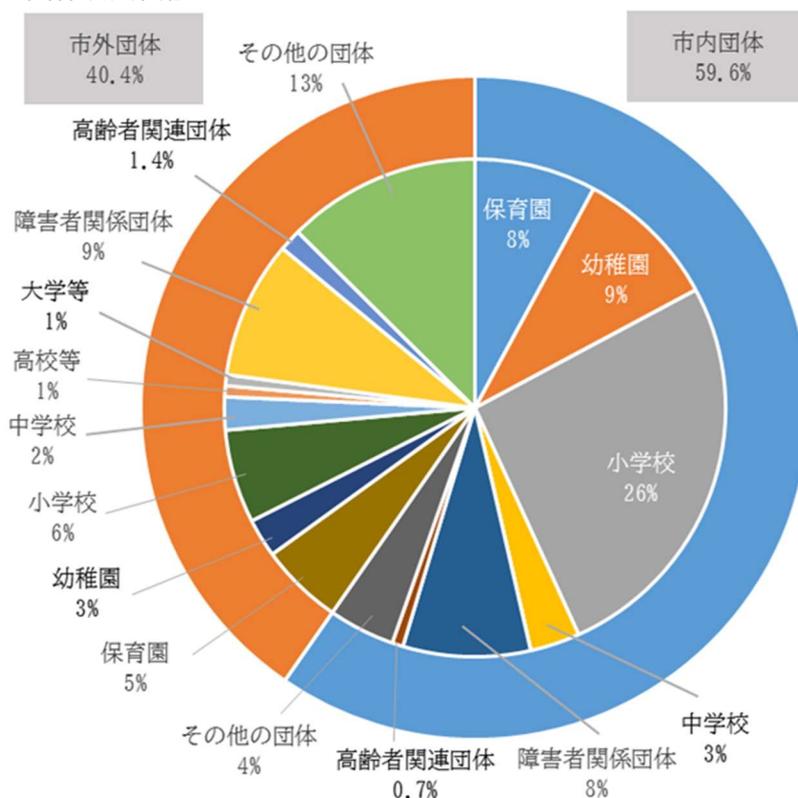
分野	大学	人数	分野	大学	人数
考古	東海大学	1	生物	東京農業大学	1
	専修大学	1		神奈川大学	1
	鶴見大学	1		東京都立大	1
	駒澤大学	1		日本大学	2
歴史	中央大学	1	地質	東京都市大学	1
	東海大学	1		北里大学	1
	駒澤女子大学	1		和光大学	1
民俗	青山学院大学	1	天文	東京工芸大学	1
	神奈川大学	1		女子美術大学	1
	成城大学	1			

9 団体利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム貸切投影、展示学習）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数
4月	2	167	8月	35	1048	12月	0	0
5月	24	1,605	9月	19	922	1月	0	0
6月	34	1,617	10月	46	2,505	2月	0	0
7月	32	937	11月	55	3,535	3月	33	1,149
						年計	280	13,485

団体利用内訳



利用団体	市内団体	市外団体
保育園	22	15
幼稚園	26	7
小学校	73	17
中学校	9	6
高校等	0	2
大学等	0	2
障害者関係団体	23	25
高齢者関連団体	2	4
その他の団体	12	35
合計	167	113

10 博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用

市内小中学校からの依頼により、学校教材用に博物館資料の貸出しを行った。

(主な貸出しキット)

- ・糸車
- ・昭和ってすごい時代体感キット
- ・昔の人の暖房キット
- ・和傘
- ・下駄
- ・背負子
- ・縄文体験キット
- ・地層剥ぎ取り標本

学年	件数
小学校1年	1
小学校2年	0
小学校3年	3
小学校4年	0
小学校5年	0
小学校6年	4
中学校1年	0
中学校2年	0
中学校3年	0
合計	8

11 相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し

博物館ボランティアの「市民学芸員」が7年かけて企画・検討を重ね、手作りで平成29年度に完成した「いろはかるた」。市内緑区から南区まで47ヶ所の名所・旧跡などを紹介したもので、絵札、読み札の他、解説文（日本語、英語）、紹介地マップもついている。

また、貸出し分（30組、期間は原則1ヶ月以内）を博物館内の掲示やホームページ、職員ブログでPRを行ったほか、博物館の学習資料展で紹介した。

(1) 制作

相模原市立博物館ボランティア「市民学芸員」

(2) 貸出し件数

学校、公民館など8件44組

1.2 ネットで楽しむ博物館

動画配信サイトYouTubeの「相模原市立博物館公式チャンネル」を用いて、博物館ホームページの「ネットで楽しむ博物館」で動画配信を行った。

	タイトル	視聴回数※1
1	はやぶさWEEK 記念イベント JAXA 研究者による特別講演会「はやぶさ「打ち上げから20年を振り返る」前編	155回
2	はやぶさWEEK 記念イベント JAXA 研究者による特別講演会「はやぶさ「打ち上げから20年を振り返る」後編	55回
3	星空さんぽ2023年12月ミニテーマ「クリスマス」	108回
4	星空さんぽ2024年1月ミニテーマ「オリオン座」	87回
5	星空さんぽ2024年2月ミニテーマ「バレンタイン」	44回
6	学びの収穫祭 口頭発表①「相模原市立博物館周辺の花ごよみ～2017-2021年度 2つの雑木林の比較～」	—※2
7	学びの収穫祭 口頭発表②「相模原段丘面からの湧水の年間水質変化-降水極端化によるNo.7 湧水の水質への影響-」	—※2
8	国際博物館の日2023 講演会「宇宙は夢のまた夢なのか？」	8回
9	「小惑星の日(6月30日)」にちなんで開催した「アステロイドデー スペシャルトーク」	—※3
10	カプセル帰還3周年&プラネタリウム100周年記念はやぶさ2拡張ミッション拡大イベント	—※4
11	第5回宇宙フェスタさがみはら「宇宙落語&スペシャルトーク」	—※3

※1 3月31日までの延べ視聴回数。

※2 エコパークさがみはらによる配信のリンクのため、視聴回数不明。

※3 星空公園による配信のリンクのため、視聴回数不明。

※4 日本プラネタリウム協議会による配信のリンクのため、視聴回数不明。

1.3 インターンシップ

自然環境を保全し、自然分野での豊富な知識を有した人材を行政・企業等と連携・育成し、社会へ送り出すプログラムとして東京都が実施しているECOTOPインターンシップを受け入れた。

期間 令和6年2月16日～3月1日までのうち5日間

大学 桜美林大学リベラルアーツ学群 1名

受入分野 生物

1.4 博物館職員の講師依頼等

市内公民館、小・中学校、高校、他自治体等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した(これに類するものも記載)。

依頼件数 計89件

聴講者 延べ 3,660人

<一般の講師派遣>

	演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
1	相模原の歴史 (新採用職員研修)	相模原市人材育成課	歴史	4/4・6	けやき会館	眞壁ゆい
2	相模原市自然環境観察員制度第1回環境学習セミナー	エコパークさがみはら	生物	4/15	エコパークさがみはら	秋山幸也
3	夜空で星座を探そう～星座早見の使い方～	鎌倉市社会福祉協議会	天文	4/24	鎌倉市教養センター	里見聡一
4	枯損木点検講習「倒伏の前兆をとらえるには」	相模原市観光・シティプロモーション課	生物	4/26	青野原野呂ロッジキャンプ場	秋山幸也
5	勝坂遺跡活用事業	相模原市文化財保護課	考古	5/14	勝坂遺跡公園	長澤有史
6	親子全力クラブ	大沢公民館	地質	5/21	神沢河原	河尻清和
7	みんなで盛り上げよう！オーノにぎわいワークショップ	相模原市南区役所地域振興課	生物	5/21	南区合同庁舎	秋山幸也
8	石器文化研究会見学会	石器文化研究会	考古	6/10	博物館	長澤有史
9	川崎市青少年科学館職員等研修「地域博物館における自然史資料の記録と調査研究について」	川崎市青少年科学館	生物	6/22	川崎市青少年科学館	秋山幸也
10	田名公民館文化部事業「(仮)田名地区を100倍楽しむ～地域を知ろう(養蚕と文化)～」	田名公民館	民俗	6/23	田名公民館	山本菜摘
11	さがみはら地域づくり大学	公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム	歴史	7/8	ユニコムプラザさがみはら	眞壁ゆい
12	相原公民館歴史講座	相原公民館	考古	7/9	相原公民館	長澤有史
13	文化部「教養講座」	上鶴間公民館	生物	7/22	上鶴間公民館	秋山幸也
14	セミの羽化観察教室	大野南公民館	生物	7/29	大野南公民館、相模大野中央公園	秋山幸也
15	田名向原遺跡活用事業講演会	相模原市文化財保護課 旧石器ハテナ館	考古	7/29	旧石器ハテナ館 実習・講習室	長澤有史
16	ナラ枯れを考える講演会「森を更新する自然の力」	明治大学保全生物学研究室	生物	8/2	オンライン	秋山幸也
17	若竹園歴史探訪講座	若竹園	歴史	8/5	若竹園	眞壁ゆい
18	パソコンを使って宇宙を体験しよう！	橋本図書館	天文	8/6	橋本図書館	里見聡一

令和5年度 相模原市立博物館 年報

19	第7期第6回中央区区民会議（小委員会） 中央区内の自然環境（緑地）と生物多様性について	相模原市中央区役所区政策課	生物	8/22	東淵野辺2丁目市民緑地及び博物館	秋山幸也
20	田名地区散策～小さな秋みつけよう～	田名公民館	生物	9/26	田名地区	秋山幸也
21	歴史講座「和田義盛の時代から陽光台地区近隣の町の成り立ちまで」	陽光台公民館	歴史	9/29	陽光台公民館	眞壁ゆい
22	相模原の歴史（新採用職員研修）	相模原市人材育成課	歴史	10/3	けやき会館	眞壁ゆい
23	星が丘公民館学習文化委員会事業教養講座「あなたの知らない月の世界」	星が丘公民館	天文	10/4	博物館	里見聡一
24	自然観察指導員観察学習会	さがみはら緑の風	生物	10/7	博物館	秋山幸也
25	自然観察指導員観察学習会	さがみはら緑の風	生物	10/7	博物館	秋山幸也
26	旧石器ハテナ館普及事業「川原石のふしぎ～自分だけの石図鑑をつくろう～」	史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	地質	10/21	史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	河尻清和
27	研究機関等公開講座【国民生活センターコース】 「三世代で外遊び！」	生涯学習センター	生物	10/22	留保地	秋山幸也
28	令和5年度橋本公民館高齢者学級への講師派遣について 「相模川水系の地形と地質について」	橋本公民館	地質	11/1	橋本公民館	河尻清和
29	考古班活動における講師依頼	相模原市文化財調査・普及員	考古	11/2	相模原市立博物館 実習実験室	長澤有史
30	第50回藤野文化祭第50回記念企画展示	藤野文化祭実行委員会	考古	11/3	藤野芸術の家	長澤有史 領家玲美
31	全国野生生物保護活動発表会	公益財団法人日本鳥類保護連盟	生物	11/29	環境省	秋山幸也
32	体験活動「岩石採集」	相模川自然の村野外体験教室	地質	11/30	相模川自然の村野外体験教室	河尻清和
33	仮 相模原市の遺跡と津久井城（一時間程度）	全国山名氏一族会	考古	11/30	相模原市民会館	長澤有史
34	相模原は希少種の宝庫！？生きものから見た市域の自然	相模原市文化財保護課	生物	12/9	総合学習センター	秋山幸也
35	第26回古代史サロン	長柄桜山古墳をまもる会	考古	12/9	葉桜自治会館ホール	長澤有史
36	全体テーマ調査結果検討会	エコパークさがみはら	生物	12/10	エコパークさがみはら	秋山幸也

令和5年度 相模原市立博物館 年報

37	相模原市自然環境観察員制度講師 野鳥部会野鳥観察会Ⅰ	エコパークさがみはら	生物	12/16	境川	秋山幸也
38	武蔵高等学校中学校地学部巡検	武蔵高等学校中学校	地質	12/24	相模原市緑区佐野川および澤井	河尻清和
39	自然観察会	津久井湖城山公園パークセンター	生物	1/13	津久井湖城山公園	秋山幸也
40	陽光台公民館青少年部主催「冬の星空観望会」	陽光台公民館青少年部	天文	1/19	陽光台公民館	里見聡一 田子智大
41	勝坂遺跡活用事業	相模原市文化財保護課	生物	1/21	勝坂遺跡活用事業	秋山幸也
42	丹沢大山自然再生活動報告会パネルディスカッション コーディネーター	丹沢大山自然再生委員会	生物	1/21	横浜市情報文化ホール	秋山幸也
43	青少年部事業「冬に遊ぶ」～公民館でプラネタリウム投影機を使って星空を学ぶ～	相原公民館	天文	1/28	相原公民館	里見聡一
44	時を超えて縄文の息吹を感じてみよう～ 縄文時代解説と田名地区遺跡散策～」講座①	田名公民館	考古	1/28	田名公民館大会議室	長澤有史
45	相模台成人学級「さがみはらの歴史～勝坂ムラを知る～」	相模台公民館	考古	1/31	相模台公民館大会議室	長澤有史
46	さがみ自然フォーラム 神奈川の生物多様性について	NPO 法人 神奈川県自然保護協会	生物	2/10	アミューあつぎ	秋山幸也
47	時を超えて縄文の息吹を感じてみよう～ 縄文時代解説と田名地区遺跡散策～」講座②散策	田名公民館	考古	2/10	田名地区	長澤有史
48	城山エコミュージアムのつどい講演会「らんまん 牧野富太郎とゆかりの植物」	城山エコミュージアム	生物	2/17	田名公民館大会議室	秋山幸也
49	出張観望会	橋本小学校PTA	天文	2/17	橋本小学校	里見聡一 田子智大
50	上鶴間公民館文化部「相模原に伝わる不思議な話」	上鶴間公民館	民俗	2/18	上鶴間公民館大会議室	山本菜摘
51	日本地質学会関東支部主催巡検	日本地質学会	地質	2/18	千葉県鴨川市の海岸	河尻清和
52	相模原市自然環境観察員制度講師 野鳥部会野鳥観察会Ⅱ	エコパークさがみはら	生物	2/23	新横浜公園遊水池	秋山幸也
53	小山田緑地「野鳥観察会」	公益財団法人東京都公園協会	生物	2/24	小山田緑地	秋山幸也

54	東林歴史講座「緑道を歩いて学ぶ、東林の開拓と開発」第1回（座学）	東林ふれあいセンター	歴史	2/27	東林ふれあいセンター	眞壁ゆい
55	企画展記念講演会「生態画の世界へようこそ」	神奈川県立生命の星・地球博物館	生物	3/2	神奈川県立生命の星・地球博物館	秋山幸也
56	東林歴史講座「緑道を歩いて学ぶ、東林の開拓と開発」第2回（探訪）	東林ふれあいセンター	歴史	3/5	野外（東林間駅～小田急相模原駅）	眞壁ゆい
57	勝坂遺跡活用事業	相模原市文化財保護課	地質	3/10	勝坂遺跡活用事業	河尻清和
58	中央区役所横断チーム事業「おさんぽビンゴでおさんぽ」における施設見学	相模原市中央区役所区政策課	-	3/30	大型資料収蔵庫、考古資料収蔵庫	領家玲美 眞壁ゆい

<学校への講師派遣>

	演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
1	ホテル観察会事前学習会	上溝南高校	生物	4/25	上溝南高校	秋山幸也
2	総合的な学習の時間	広田小学校	考古	4/27	広田小学校	長澤有史
3	博物館実習	青山学院大学	-	5/20	博物館	秋山幸也
4	総合的な学習の時間	くぬぎ台小学校	生物	5/24	くぬぎ台小学校	秋山幸也
5	ホテル現地観察会	上溝南高校	生物	5/26	田名望地	秋山幸也
6	鳥類学実習	青山学院大学	生物	5/27	博物館	秋山幸也
7	麻布大学の博物館見学	麻布大学	生物	5/31	博物館	秋山幸也
8	蚕についての学習	新宿小学校	生物	6/1	新宿小学校	秋山幸也
9	蚕の育て方についての学習	作の口小学校	生物	6/2	作の口小学校多目的ホール	秋山幸也
10	市民協働プロジェクト博物館見学	青山学院大学	-	6/3	博物館	里見聡一 長澤有史
11	蚕についての学習	青葉小学校	生物	6/6	青葉小学校ランチルーム	秋山幸也
12	中央大学博物館見学会	中央大学	-	6/25	博物館	眞壁ゆい
13	特別講義「知の探究A」	埼玉女子短期大学	生物	7/4	埼玉女子短期大学	秋山幸也
14	博物館見学	女子美術大学	地質	7/6	博物館	河尻清和
15	社会科特別講座	光明学園相模原高等学校	考古	8/23	博物館	長澤有史
16	総合的な探究の時間の授業「近代以降の相模原・津久井の歴史」	神奈川県立津久井高等学校	歴史	9/28	神奈川県立津久井高等学校	眞壁ゆい
17	ビオトープのはなし	新磯小学校	生物	10/6	新磯小学校	秋山幸也
18	まちかど講座「相模原の歴史」	相陽中学校	歴史	10/24	相陽中学校	眞壁ゆい
19	必修選択科目「生物」出前授業	神奈川県立津久井高等学校	生物	10/25	神奈川県立津久井高等学校	秋山幸也
20	相模原を知ろう	桜美林大学	-	11/2	博物館	眞壁ゆい
21	博物館資料保存論現地授業	北里大学	生物	11/28	博物館	秋山幸也
22	大野北小学校3学年総合的な学習（生物分野）	大野北小学校	生物	11/30	大野北小学校	秋山幸也

23	学芸員課程見学実習	桜美林大学	博物館学	12/2	桜美林大学	秋山幸也
24	学芸員課程見学実習	東京家政学院大学	博物館学	12/2	東京家政学院大学	長澤有史
25	大野北小学校3学年総合的な学習(民俗分野)	大野北小学校	民俗	12/13	大野北小学校	山本菜摘
26	武蔵高等学校中学校地学部巡検 小仏層群の露頭観察	武蔵高等学校中学校	地質	12/24	相模原市緑区藤野周辺	河尻清和
27	鳥のおはなし	大野村いつきの保育園	生物	1/19	大野村いつきの保育園	秋山幸也
28	かわる道具とくらし	淵野辺東小学校	民俗	1/23・24	淵野辺東小学校	山本菜摘
29	変わる道具と昔のくらし	小山小学校	民俗	2/8	小山小学校	山本菜摘
30	相模原の絶滅危惧生物	新町中学校	生物	2/21	新町中学校	秋山幸也
31	光明学園相模原高校自然探求講座 バードウォッチング	光明学園相模原高等学校	生物	3/26	光明学園相模原高校、当麻山周辺	秋山幸也

15 JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」

JAXA相模原キャンパス内の宇宙科学探査交流棟内に博物館紹介コーナーを設置し、出張展示等を行っている。また、交流棟と博物館をまたぐスタンプラリーを実施した。

	分野	事業名
1	民俗	民俗 ※R4からの継続事業
2	歴史	キャンプ淵野辺の返還 ※R7までの継続事業

16 市民との協働

市民の会8団体とともに調査・研究・普及等の活動を行った。
登録者数 210人(延べ参加者数1,324人)

	名称	登録者	参加者	内容
1	市民学芸員	56人	延べ666人	学習資料展の企画・準備等を実施した。また、有志により市民学芸員かわら版作成などを行った。
2	相模原植物調査会	58人	延べ72人	市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、博物館実習生の標本取扱い等の指導を行った。
3	相模原地質研究会	16人	延べ70人	博物館周辺の地形調査を行った。企画展の準備作業を行った。
4	相模原縄文研究会	19人	延べ210人	寄贈された考古資料の整理を行った。

令和5年度 相模原市立博物館 年報

5	相模原市立博物館天文クラブ	14人	延べ124人	博物館と協働して、月面等の写真撮影及び資料化、身近に起きる天文現象の記録と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を行った。
6	福の会	6人	延べ147人	寄贈された神楽資料等の整理を行ったほか、収蔵庫や民俗関係の常設展示室の清掃作業などを実施した。
7	相模原動物標本クラブ	21人	延べ15人	博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。
8	相模原水生動物調査会	20人	延べ20人	市域を中心とした水域で水生動物調査を行い、室内で同定学習会などを実施した。

IV 資料管理

1 博物館収蔵資料点数

博物館 館内収蔵資料点数リスト

分野	分類	保管場所	収蔵点数 (R6.3.31 現在)	増減	単位
考古	考古資料	考古資料収蔵庫	6,736	60	箱
		自然・歴史展示室	898	0	点
		他館等長期貸出資料	676	0	点
	分野計		8,310	66	箱/点
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,846	48	点
		生活資料収蔵庫	1,217	2	点
		特別収蔵庫	67,629	230	点
		フィルム収蔵庫	5	0	展
		自然・歴史展示室	126	0	点
	軍事資料	古文書収蔵庫	23	0	点
		生活資料収蔵庫	1,664	5	点
		自然・歴史展示室	34	0	点
	古文書等市史資料 (旧役場文書は除く)	古文書収蔵庫	3,323	1	点
		市史編さん室	797	0	点
		特別収蔵庫	21,742	0	点
	購入資料	特別収蔵庫	112	0	点
地図・写真資料	図面保管庫	5,916	5	点	
分野計		108,434	291	点	
民俗	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫	23,204	54	点
		大型資料収蔵庫			
		自然・歴史展示室	141	0	点
	他館等長期貸出資料	36	0	点	
分野計		23,381	54	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	284	14	点
		自然・歴史展示室	50	0	点
	岩石・鉱物資料等	地質資料収蔵庫等	4,302	51	点
		自然・歴史展示室	34	0	点
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	7,096	0	点
		自然・歴史展示室	12	0	点
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	204	0	点
	砂礫等資料	地質資料収蔵庫等	741	0	点
		自然・歴史展示室	5	0	点
	剥ぎ取り資料	地質資料収蔵庫等	50	1	点
		自然・歴史展示室	4	0	点
分野計		12,782	66	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	0	点
		自然・歴史展示室	16	0	点
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	39,151	0	点
		自然・歴史展示室	18	0	点
	小動物等	液浸標本収蔵庫等	2,891	0	点
		自然・歴史展示室	14	0	点
	鳥類	動植物資料収蔵庫等	201	0	点
		自然・歴史展示室	40	0	点
	哺乳類	動植物資料収蔵庫等	30	0	点
		自然・歴史展示室	4	0	点
分野計		42,405	0	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	57,240	185	点
		自然・歴史展示室	21	0	点
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	0	点
分野計		57,267	185	点	
天文	天文資料	フィルム収蔵庫	2,028	0	点
		特別収蔵庫	0	0	点
		天文展示室等	31	6	点
	分野計		2,059	6	点
合計			254,638	668	点

令和5年度 相模原市立博物館 年報

館内収蔵美術品資料点数リスト
館内収蔵美術品(文化振興課扱)

分野	分類	保管場所	収蔵点数 (R6.3.31現在)	増減	単位
美術品	絵画	美術品収蔵庫	418	0	点
	書	美術品収蔵庫	56	0	点
	彫刻	美術品収蔵庫	2	0	点
	写真	フィルム収蔵庫	2,112	0	点
合計			2,588	0	点

館内収蔵市史資料

分野	分類	保管場所	収蔵点数 (R6.3.31現在)	増減	単位
市史資料	行政資料 (旧役場文書)	古文書収蔵庫	600	0	点

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

分野	分類	施設名	収蔵点数 (R6.3.31現在)	増減	単位
考古	考古資料	藤野第2資料保管庫	411	0	箱
		城山郷土資料保管庫	309	0	箱
		吉野宿ふじや	75	0	点
	分野計			795	0
歴史	歴史資料	尾崎罌堂記念館	4,078	0	点
		小原本陣・小原の郷	254	0	点
		城山郷土資料保管庫	0	0	箱
		吉野宿ふじや	669	0	点
分野計			5,001	0	点
民俗		小原本陣・小原の郷	401	0	点
		城山郷土資料保管庫	850	0	点
		吉野宿ふじや	1,470	0	点
	分野計			2,721	0
動物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	0	点
合計			8,632	0	

博物館関係施設別一覧

施設	分野	分類	収蔵点数 (R6.3.31現在)	増減	単位
藤野第2資料保管庫	考古	考古資料	411	0	箱
尾崎罌堂記念館	歴史	歴史資料	4,078	0	点
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	0	点
	民俗・地理	民俗生活資料	401	0	点
	施設計			655	0
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	309	0	箱
	歴史	歴史資料	0	0	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	850	0	点
	施設計			1,159	0
吉野宿ふじや	考古	考古資料	75	0	点
	歴史	歴史資料	669	0	点
	民俗・地理	民俗生活資料	1,470	0	点
	動物	昆虫類	115	0	点
	施設計			2,329	0
合計			8,632	0	

2 収集・整理

分野	内 容
考古	発掘調査報告書刊行済の出土品の移管及び再整理、寄贈考古資料の整理作業、鉄製品の保存処理
歴史	寄贈・寄託(予定含む)歴史資料の分類整理、尾崎行雄(号堂)関係資料の分類整理
民俗	民俗資料の収集、収蔵資料のカード・収蔵番号の整備、旧津久井郷土資料室所蔵資料の確認等の諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天体・天文現象・太陽の撮影やデータの整理、インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集、プラネタリウムリニューアルに向けた全国のプラネタリウム設置状況及び最新機器の情報収集や整理

3 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

殺菌、殺虫、殺卵のため、ガス薬剤（エキヒュームS）を用いた定期的なくん蒸を、洗浄・乾燥室において2回、受入れ資料を対象に、被覆法により実施した。周辺環境に配慮し、排気中のガス濃度が0ppmになるよう活性炭吸着排気を行った。

(2) 有害生物調査

7月～10月、収蔵庫及び作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

4 資料の特別利用

利用総件数90件（令和5年度中に利用申請されたもの）＜申請日順＞

	申請者	利用区分	利用目的	利用期間	分野	利用資料
1	相模原市相模湖まちづくりセンター	館外貸し出し	展示	4/1～ R6/3/31	歴史	御小休看板
2	山梨県立考古博物館	写真利用	出版掲載	5/1～	考古	大日野原遺跡の土器2点ほか
3	山川出版社	写真利用	出版掲載	5/1～	考古	田名向原遺跡の調査状況写真ほか
4	石器文化研究会	閲覧・撮影	調査研究	6/10	考古	山王平遺跡出土の旧石器資料ほか
5	個人	撮影	調査研究	4/25	歴史	本山桂川著『日本民俗図誌』チラシほか
6	山梨県立考古博物館	館外貸し出し	展示	6/20～ 9/29	考古	大日野原遺跡の土器2点ほか
7	(株)ロム・インターナショナル	写真利用	出版掲載	4/26～	民俗	昭和4年高座郡上溝町全図
8	個人	閲覧	調査研究	5/14	歴史	天保14.2『泊日記覚帳(日光道中)』（龍像寺所蔵資料）ほか
9	個人	写真利用	出版掲載	5/20～	歴史	佐野川村絵図 延享2（1745）年（部分）
10	国際文化財株式会社	撮影・写真利用・閲覧	出版掲載	6/13～	歴史	鳥屋村絵図10点
11	個人	閲覧	調査研究	6/23	歴史	万覚帳(文化8.2)ほか1点
12	個人	閲覧・撮影	調査研究	6/25	民俗	伊藤喜久男書簡（津久井郷土資料）ほか計11点
13	個人	閲覧・撮影	調査研究	6/29	歴史	横浜鉄道相原（東京府南多摩郡堺村相原）停車場ノ儀ニ付陳情
14	(株)NHK エンタープライズ近畿総支社	写真利用	番組制作	7/5～	歴史	芸州広島ヨリ小倉迄(萩原安右衛門日記)
15	個人	閲覧・撮影	調査研究	7/1～	民俗	石仏等調査票
16	個人	閲覧・撮影	調査研究	8/12、14	考古	橋本遺跡出土石器および現場記録図面

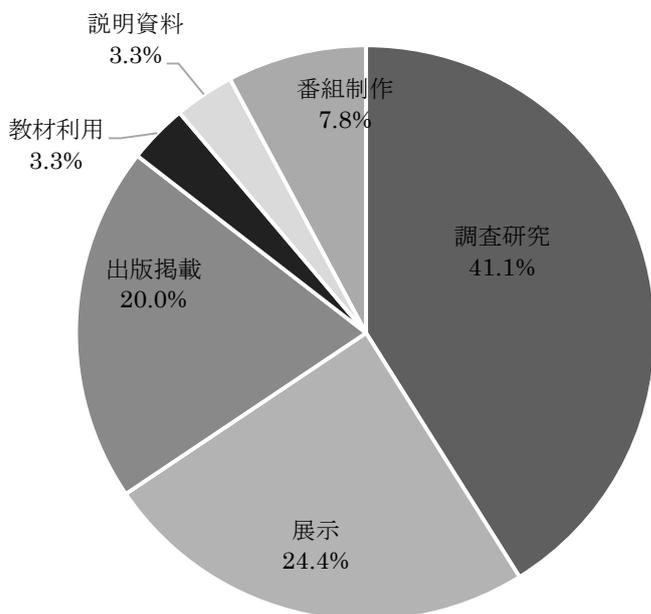
令和5年度 相模原市立博物館 年報

17	相模原市文化財保護課	館外貸し出し	調査研究	7/9～25	考古	鶴野森柏木北遺跡の古代住居の写真
18	中央大学文学部考古学研究室	館外貸し出し	教材利用	7/11～ 3/31	考古	大日野原遺跡の土器3点
19	中央大学文学部考古学研究室	館外貸し出し	調査研究	7/11～ 3/31	考古	大日野原遺跡の土器7箱ほか
20	(株)アズアリンク	写真利用	展示	7/21～	歴史	鈴木重光絵葉書コレクション28点ほか
21	(国研)産業技術総合研究所 地質情報研究部門	館外貸し出し	調査研究	8/1～ 8/30	地質	箱根多摩 TDL-1 テフラほか3点
22	個人	撮影・閲覧	調査研究	8/15	考古	橋本遺跡出土石器ほか
23	相模原市文化財保護課	閲覧・スライド写真スキャン	調査研究	7/22	考古	淵野辺嶽之内下遺跡出土の石槍・発掘現場写真
24	旧石器ハテナ館	館外貸し出し	展示	7/31～ 8/31	考古	淵野辺嶽之内下遺跡出土の石槍
25	(株)日テレアックスオン	写真利用	番組制作	8/1～ 8/21	民俗	写真「糸取りの様子(昭和61年撮影)」
26	岩宿博物館	館外貸し出し	展示	8/22～ 1/19	考古	下九沢山谷遺跡ほか 合計40点
27	個人	撮影・閲覧	調査研究	8/9	考古	勝坂遺跡第104次調査出土土器1点
28	旧石器ハテナ館	館外貸し出し	展示	8/31～ 9/30	考古	大日野原遺跡の顔面把手ほか2点
29	個人	館外貸し出し	調査研究	9/7～ 10/17	考古	橋本遺跡出土石器3点
30	個人	撮影・閲覧	調査研究	9/7	考古	橋本遺跡出土石器ほか
31	東京メトロポリタンテレビジョン	写真利用	番組制作	9/16～ 10/14	民俗	写真「養蚕の様子(昭和58年撮影)」6点
32	成城大学民俗学研究会	写真利用	調査研究	9/1～ R7/3/31	民俗	奉納経(上溝五部会)
33	東京メトロポリタンテレビジョン	写真利用	番組制作	9/16～ 10/14	民俗	写真「養蚕の様子(昭和58年撮影)」2点
34	(株)日テレアックスオン	写真利用	番組制作	9/11～ 9/25	民俗	写真「糸取りの様子(昭和61年撮影)」
35	旧石器ハテナ館	館外貸し出し	展示	9/26～ 11/2	考古	津久井城跡御屋曲輪出土の陶磁器
36	個人	撮影・閲覧	調査研究	9/7	考古	中村遺跡出土石器ほか
37	個人	写真利用	出版掲載	9/22～	歴史	神事之事、序目録
38	相模原市文化財保護課	写真利用・館外貸し出し	展示	9/27～ 11/5	歴史	市史現地調査写真・絵葉書ほか
39	岩宿博物館	写真利用	展示	10/7～ 11/23	考古	下九沢山谷遺跡の調査写真
40	相模原市文化財保護課	写真利用	出版掲載	10/10～	考古	津久井城本城曲輪、御屋敷曲輪などの調査写真
41	合同会社ケプラー	写真利用	出版掲載	11/15～	考古	田名塩田、大日野原、当摩遺跡出土土器
42	相模原町田経済新聞	写真利用	出版掲載	10/11	歴史	相模原市史現代図録編
43	いき出版	閲覧	出版掲載	10/17	歴史	広聴広報課所蔵写真ほか14点
44	旧石器ハテナ館	撮影・館外貸し出し	展示	10/31～ 12/1	考古	磯部横穴墓出土の耳環
45	海老名市教育委員会	撮影・館外貸し出し	展示	11/10～ 3/9	考古	田名半在家遺跡G地点出土鐘鈴
46	個人	撮影・閲覧	調査研究	11/12	考古	中村遺跡、橋本遺跡出土石器ほか
47	個人	閲覧・撮影	調査研究	11/9	考古	橋本遺跡の現場記録図面
48	個人	写真利用	調査研究	11/9～	歴史	祝相模鉄道開通
49	(株)あお	写真利用	番組制作	12/3～ R8/12/3	民俗	写真「唐箕の使用(昭和59年撮影)」
50	いき出版	閲覧	出版掲載	11/14	歴史	広報所蔵ファイルほか8点
51	大和市立南林間小学校創立50周年記念事業実行委員会	写真利用	出版掲載	11/20～	民俗	写真「カラーテレビ」ほか
52	旧石器ハテナ館	撮影・館外貸し出し	展示	11/30～ 12/28	考古	上溝甲7号遺跡出土の垂飾
53	東京都立大学 都市環境学部	館外貸し出し	調査研究	11/29～ 12/26	地質	阿多丸峰テフラほか1点
54	個人	閲覧	調査研究	11/30	歴史	田名村陶山家文書12・13
55	群馬県立歴史博物館	写真利用	展示	12/26～ 3/31	考古	田名向原遺跡の住居状遺構 現場写真
56	いき出版	撮影	説明資料	12/19	歴史	米国立公文書館所蔵写真ほか6点

令和5年度 相模原市立博物館 年報

57	北里大学製薬学科 1974 年卒業者同窓会	撮影	説明資料	12/20	歴史	広聴広報課所蔵写真ほか 19 点
58	個人	複写	調査研究	12/20	歴史	八木平介氏所蔵資料
59	町田市立自由民権資料館	写真利用	展示	2/3～3/3	歴史	横濱鐵道相原（東京府南多摩郡堺村相原）停車場ノ儀ニ付陳情
60	個人	閲覧・撮影	調査研究	1/10、11	考古	橋本遺跡第Ⅴ文化層の出土石器・現場記録図面
61	いき出版	誌面掲載	出版掲載	2/1～3/28	歴史	市史現地調査写真ほか 4 9 点
62	大正大学	閲覧・撮影	調査研究	1/23	考古	田名塩田遺跡群出土石匙
63	国立民族学博物館	映像利用	展示	R6/4/1～R16/3/31	民俗	映像資料「相模原台地の畑作」
64	旧石器ハテナ館	撮影・館外貸し出し	展示	2/1～28	考古	田名坂上遺跡出土の三彩小壺
65	旧石器ハテナ館	館外貸し出し	展示	2/1～4/8	考古	四ツ谷、作ノ口遺跡出土の弥生土器
66	かながわ考古学財団	写真利用	番組制作	R6/4/1～	考古	大日野原遺跡出土の土偶付深鉢形土器
67	株式会社ココロマチ	写真利用	出版掲載	3/1～終了時期未定	歴史	相模原市現代図録編
68	(株) 第一学習社	写真利用	出版掲載	R6/4/1～R16/3/31	地質	厚木市七沢の玉ねぎ状風化写真
69	個人	撮影・閲覧	調査研究	2/12	考古	中村遺跡、下九沢山谷遺跡、山王平遺跡出土の石器
70	個人	撮影・閲覧	調査研究	2/16	考古	山王平遺跡縄文住居出土の黒曜石製石器
71	個人	館外貸し出し	調査研究	2/1～2/29	歴史	小倉・吉村藤臣家所蔵資料
72	大正大学文学部	館外貸し出し	調査研究	2/16～2/28	考古	田名塩田遺跡群出土石匙
73	国立歴史民俗博物館	館外貸し出し	展示	R6/4/1～R7/3/31	考古	田名向原遺跡出土石器
74	株式会社武蔵文化財研究所	写真利用	出版掲載	3/1～	考古	新戸遺跡第 5 地点出土の軽石製石製品
75	中央大学	写真利用	出版掲載	3/1～	考古	上中丸遺跡出土の土器および土器圧痕
76	個人	館外貸し出し	調査研究	2/28～3/14	考古	山王平遺跡出土の黒曜石石器
77	津久井湖城山公園	館外貸し出し	展示	4/1～3/31	考古	津久井城跡御屋敷曲輪出土遺物
78	旧石器ハテナ館	写真利用・館外貸し出し	展示	2/29～3/31	考古	川尻遺跡、寸嵐 1 号遺跡
79	個人	館外貸し出し	調査研究	2/29～3/29	歴史	小倉・吉村藤臣家所蔵資料
80	多摩美術大学	撮影・閲覧	調査研究	3/8	考古	下中丸遺跡 調査の記録図面
81	個人	写真利用	出版掲載	3/9～	民俗	写真『土の香 第 1 巻第 1 号』
82	個人	閲覧	調査研究	3/17	民俗	1/25000 地形図・熱海
83	株式会社 光文書院	写真利用	教材利用	9/1～R12/3/31	歴史	与瀬駅写真ほか 1 点
84	個人	撮影・閲覧	調査研究	3/20	民俗	田中神社廣前祈禱神璽
85	個人	撮影・閲覧	調査研究	4/23	考古	下森鹿島遺跡第 1 文化層の石器
86	文化財保護課	館外貸し出し	展示	4/1～3/31	考古	勝坂遺跡および田名向原遺跡等出土品
87	旧石器ハテナ館	写真利用・館外貸し出し	展示	3/31～4/30	考古	苦久保遺跡、相原田ノ上遺跡第 15 地点
88	南区役所地域振興課	写真利用	説明資料	3/29～4/30	民俗	デジタル写真「関東地震石造物（南区）」
89	中央大学文学部考古学研究室	館外貸し出し	教材利用	4/1～3/31	考古	大日野原遺跡の土器 3 点
90	個人	閲覧・複写	調査研究	3/30	歴史	国土地理院 1/50,000 地形図 藤沢（昭和 34 年）ほか 11 点

資料の特別利用内訳



利用目的	件数
調査研究	37
展示	22
出版掲載	18
教材利用	3
説明資料	3
番組制作	7
映像放映	0
合計	90

5 JAXA宇宙科学研究所からの借用物

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	火星探査機「のぞみ」1/1模型	H28.6.1		エントランス
2	「はやぶさ」1/1模型	H29.9.11		エントランス
3	大西宇宙飛行士がISSへ持ち込んだ、「はやぶさ2」と小惑星リュウグウの模型	H29.8.26		天文展示室
4	イオンエンジンμ10模型	H30.6.8		天文展示室
5	カーボングリッド	H30.6.8		天文展示室
6	「あけぼの」1/5模型	H30.7.21		天文展示室
7	電波天文衛星「はるか」1/20模型	R5.4.4		天文展示室
8	科学衛星MUSES-A「ひてん」実寸大模型	R5.4.4		エントランス
9	「れいめい」(INDEX)熱・構造試験モデル	R5.4.4		エントランス
10	「あかつき」1/10模型	R5.7.3	R5.8.28	特別展示室
11	「ひさき」1/5模型	R5.7.3	R5.8.28	特別展示室
12	「かぐや(SELENE)」1/10模型	R5.7.3	R5.8.28	特別展示室
13	「みお」1/10模型	R5.7.3	R5.8.28	特別展示室
14	アリアンロケット 1/125模型	R5.7.3	R5.8.28	特別展示室

その他物品

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	ブックスタイル説明台	H9.4.1		エントランス
2	はやぶさのぼうけん日誌台	不明		天文展示室
3	スタンプラリー台(はやぶさ)	H30.2.2		エントランス
4	スタンプラリー台(いんせき)	H30.2.2		天文展示室
5	「はやぶさ」パネル類(3点)	H29.9.11		エントランス

V 調査研究

分野	担当者	内容と成果
考古	長澤 有史 領家 玲美	川坂遺跡の出土品について遺物整理を行い、文化財保護課と連携し川坂遺跡第4次調査報告書を刊行した。新収蔵品について資料調査を行い、その成果を当館研究報告に資料報告とその評価について掲載した。また、当館資料を含む縄文時代初頭の石器群について、論考を執筆し外部に投稿した。そのほかにも文化財保護課、神奈川県公園協会とともに津久井城跡城坂曲輪群7号曲輪の発掘調査を市民協働調査で実施し、当館エントランスにて調査成果の速報展を開催した。 縄文土器圧痕調査成果をテーマにしたミニ展示やワークショップに関連し、『相模原縄文研究会』と共に下原遺跡の縄文土器圧痕調査やコクゾウムシの生育調査を行った。
民俗	山本 菜摘	寄贈された神楽資料について、福の会と相模里神楽垣澤社中と協働し、整理及び資料調査を行った。 また、「関東大震災と相模原」展開催にあたり、相模原市内および周辺地域の関東大震災関係の石造物の調査を地質の学芸員と共同で実施した。調査・研究成果の一部は日本地質学会第130年学術大会で報告した。
歴史	眞壁 ゆい	令和4年度に開催した大河ドラマ関連ミニ展示に向けた調査を継続し、市域及び近隣の徳川家康ゆかりの地について歴史講座を行った。また、津久井地域の産業、光が丘地区の都市形成について調査し、その結果を市内の学校・公民館等で講義した。市民との協働による企画展「学習資料展」の開催にあたり、昭和20年代後半～40年代の子どもの遊び・娯楽について調査研究し、研究報告第32集に開催報告を掲載した。
生物	秋山 幸也	市内の動植物相調査を実施し、その中で明らかになった市内に生育・生息する絶滅危惧生物の保全、増殖事業を近隣大学等と連携しながら実施した。また、博物館周辺の樹林地(留保地)において大学等と協力して動物生態調査を実施した。
地質	河尻 清和	相模原市内、相模川・桂川流域及び関東平野西縁部の地形地質調査を実施した。また、相模原市内および周辺地域の関東大震災関係の石造物の調査を民俗の学芸員と共同で実施した。調査・研究成果の一部は日本地質学会第130年学術大会および研究報告第32集で報告した。相模野台地の微地形調査は相模原地質研究会と協働で実施した。富士相模川泥流堆積物については東京都立大学との共同研究を行った。
天文	里見 聡一 田子 智大	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、長期にわたり休止していた「天文電子かわら版」(天文展示室内にあるタッチ操作式モニター展示物)の動作ファイルを新規制作し、その方法について、博物館研究報告にて公表した。 令和5年度 JAXA 連携企画展「富士のある地球～火山を持つ太陽系天体たち～」の開催にあたり、市内近郊で富士山が観察可能な地点及び資料、地球や太陽系天体の火山について調査研究を行った。

・ 検討会委員等の派遣

全国野生生物保護活動発表大会 審査員	秋山 幸也
令和5年度愛鳥週間野生生物保護功労者表彰選考審査員	秋山 幸也
「神奈川自然誌資料第45号」編集委員	秋山 幸也
宮ヶ瀬湖フィッシング利用事業化調査業務委託のプロポーザル審査選考委員	秋山 幸也
小田原市郷土文化館協議会委員	秋山 幸也
国土交通省河川水辺の国勢調査「宮ヶ瀬ダム」アドバイザー	秋山 幸也

VI 市史関連事業

1 収集・整理事業

市史及び津久井町史の編さんに際し収集した資料の整理作業を行うとともに、次の市史等の編さんに向けた資料の収集を行った。また、整理された資料を市民やその他団体の利活用に協力した。

2 普及事業

資料の整理・保存及び普及活動を中心に行った。

(1) 市史ミニ展示

※詳細は14・15頁Ⅲ3 (2) 4・7・10参照

(2) 市史・町史刊行物の販売

博物館、行政資料コーナー、相模原市書店協同組合加盟店で販売した。

VII 博物館所管施設

1 尾崎罌堂記念館（緑区又野）



外観



展示室

尾崎罌堂記念館は、「議会政治の父」といわれた尾崎行雄（罌堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和32年1月に、「尾崎罌堂うまれ地記念事業委員会」によって建設され開館した。

昭和33年度に旧津久井町に寄贈され、平成2年に「ふるさと創生事業」にて増改築を行い、平成18年3月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

平成28年2月、協働事業提案制度事業により常設展示をリニューアルした。

(1) 施設概要

ア 所在地	相模原市緑区又野691番地
イ 電話番号	042-784-0660
ウ 延べ床面積	229.62㎡
エ 建物構造	木造1階建て
オ 休館日	月曜日（休日に当たる日を除く） 休日の翌日（休日・日曜・土曜に当たる日を除く） 年末年始（12月28日～1月3日）
カ 開館時間	午前9時～午後4時30分

(2) 善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩で作られた高さ3メートル、幅50センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行ハみな善事之をへらす言行ハみな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、罌堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和46年に現在の場所に移設された。

(3) 罌堂桜・里帰り桜



尾崎行雄が東京市長在職中の明治45年、米国ワシントンのポトマック公園に3,000本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど4品種の桜苗木を「罌堂桜」と命名、その内の「普賢象」1本が平成4年、記念館の庭に植樹された。

また、平成24年には桜寄贈100周年を記念し、新たな里帰り桜「ソメイヨシノ」1本が有志により植栽され、平成29

年には「尾崎行雄を全国に発信する会」との協働事業における100本の「里帰り桜」植樹事業のうち「関山」1本を敷地内に植樹した。

(4) 企画展・講演会・展示

博物館主催事業及び「尾崎行雄を全国に発信する会」へ委託し、次の事業を開催した。

ア 博物館主催事業（全2件）

	事業名	実施日	期間中の入館者数	内容・備考
1	【再掲】NHK大河ドラマ“どうする家康”関連巡回ミニ展示「相模原にもあった!? 徳川家康ゆかりの地」※	11/11(土) ～12/24(日)	123人	市内を中心に、徳川家康やその祖先、重臣に関係するゆかりの地について紹介。 会場 尾崎号堂記念館
2	【再掲】伊勢×相模原 尾崎号堂記念館同時展 出張ミニ企画展「憲政擁護運動と尾崎行雄（号堂）」※	R6/1/27(土) ～3/24(日)	184人	尾崎行雄による「桂内閣弾劾演説」から110年の節目にちなんだミニ企画展を出張展示した。

※ 16頁Ⅲ3(3)8・10の再掲

イ 尾崎行雄を全国に発信する会への委託事業（全2件）

	事業名	実施日	期間中の入館者数	内容・備考
1	【再掲】ミニ企画展「憲政擁護運動と尾崎行雄（号堂）」※1	10/21(土) ～11/30(木)	18,631人	尾崎行雄による「桂内閣弾劾演説」から110年の節目にちなんだミニ企画展。 会場 博物館
(1)	【再掲】ミニ企画展 展示解説会※1	10/28(土)	2人	会場 博物館 講師 大橋 孝夫さん (尾崎行雄を全国に発信する会 事務局長)
2	【再掲】近現代史講演会「渋沢栄一の近代産業育成～『忠恕』と『公益』～」※2	R6/3/10(日)	42人	NHK大河ドラマや新一万円札の肖像として話題の、渋沢栄一の人物像や業績について紹介。 会場 博物館 講師 河田 重三さん (渋沢栄一記念館 資料解説員)

※1 15頁Ⅲ3(2)9(1)の再掲

※2 19頁Ⅲ4(1)10の再掲

(5) 横断幕の設置

津久井総合事務所前に尾崎号堂記念館を案内する横断幕を設置した。

(6) パンフレット

パンフレットは博物館ほか市内で配布し、博物館ホームページにPDFデータを公開した。

2 吉野宿ふじや（緑区吉野）



外観



2階展示室

吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩（諏訪藩）の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治29年の大火で焼失し、現在の建物は明治30年頃に建てられた。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成18年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道20号改良工事（歩道設置）に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成25年7月2日にリニューアルオープンした。また、平成26年4月1日には町屋遺構としての見地から市登録有形文化財に登録された。

平成29年4月から土・日曜・祝日のみの開館としたが、企画展等の際には平日も開館する。

(1) 施設概要

ア 住 所	相模原市緑区吉野214番地
イ 電話 番号	042-687-5022
ウ 延べ床面積	392.51㎡
エ 建物 構造	木造3階建て
オ 開 館 日	日曜・土曜・休日（年末年始（12月28日～1月3日）を除く）
カ 開 館 時 間	午前10時～午後4時

(2) 企画展（1事業）

「NPO法人ふじの里山くらぶ」へ委託し、企画展を開催した。

	事業名	実施日	来場者	内容・備考
1	「甲州道中(相模湖・藤野・上野原)のおひな様」展	R6/2/10(土) ～R6/3/10(日)	553人	地元に伝わるおひな様を展示。

3 入館者数一覧

(1) 尾崎罌堂記念

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
令和元年度	1,700	*1 280	6.1
令和2年度	582	*2 190	3.1
令和3年度	815	*3 255	3.2
令和4年度	1,249	297	4.2
令和5年度	1,384	306	4.5

- *1 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館
- *2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月5日(金)及び令和3年1月13日(水)～3月21日(日)休館
- *3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月6日(金)～9月30日(木)休館

(2) 吉野宿ふじや

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
令和元年度	1,711	*1 109	15.7
令和2年度	562	*2 72	7.8
令和3年度	1,305	*3 98	13.3
令和4年度	1,329	116	11.5
令和5年度	*4 1,343	121	11.1

- *1 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館
- *2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月5日(金)及び令和3年1月13日(水)～3月26日(金)休館
- *3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月6日(金)～9月30日(木)休館
- *4 団体及び企画展による平日の利用人数を含めると、1,745人/139日

Ⅷ 企画展（特別展示）、プラネタリウム・全天周映画一覧

令和5年度 企画展・プラネタリウム・全天周映画一覧

月	企画展		プラネタリウム		全天周映画	
4	考古企画展「新発見！さがみはらの遺跡」 3.18～4.16		プラネタリウムで 宇宙たんけん！（春） ～ナゾの宇宙人からの メッセージ～ 3.4～5.28	星空さんぼ ～春～ 3.1～5.31		
5						
6	地質企画展「石のステンドグラス2 ～偏光顕微鏡の世界～」 4.25～6.25					
7	JAXA連携企画展「富士のある地球～ 火山を持つ太陽系天体たち～」 7.15～8.27		プラネタリウムで 宇宙たんけん！（夏） ～ナゾの宇宙人からの メッセージ～ 6.3～8.27	星空さんぼ ～夏～ 6.1～8.31		
8					宇宙なんちゃ らこてつくん プラネタリウ ム (同時上映) まくまくんの 星空大冒険 4.1～3.31	富士の星暦 4.1～9.30
9	第8回 わお！な生きもの フォトコンテスト写真展」 9.9～10.9					
10			プラネタリウムで 宇宙たんけん！（秋） ～ナゾの宇宙人からの メッセージ～ 9.2～11.26	星空さんぼ ～秋～ 9.1～11.30		
11	学習資料展「子どもの遊び いま・ むかし」 10.21～11.30					
12						
1						
2						
3	第9回「わお！な 生きものフォト コンテスト作品 展」 3.23～5.6	「STOP！クリハ ラリス～特定外 来生物の分布拡 大を止めるため に～ 3.23～5.6	プラネタリウムで 宇宙たんけん！（春） ～ナゾの宇宙人からの メッセージ～ 3.2～5.26	星空さんぼ ～春～ 3.1～5.31		Odyssey ～果てしな く美しい宇 宙～ (同時上映) まくまくん の 星空大冒険 10.1～3.31

IX 企画展（特別展示）ポスター一覧



考古企画展
「新発見！さがみはらの遺跡」



地質企画展
「石のスタンドグラス2
～偏光顕微鏡の世界～」



JAXA 連携企画展
「富士のある地球
～火山を持つ太陽系天体たち～」



第8回 わお！な生きもの
フォトコンテスト写真展



学習資料展 昔の小学生
「子どもの遊び
いま・むかし」



第9回 わお！な生きもの
フォトコンテスト写真展



「STOP！クリハラリス～
特定外来生物の
分布拡大を止めるために～」

X 博物館略年表

年	月	事 項
昭和55年	4月	「キャンプ淵野辺留保地整備計画」に建設の検討が盛り込まれる
昭和56年	4月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和56年	6月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和56年	10月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和58年	2月	(仮称)相模原市立博物館基本構想策定
昭和58年	6月	展示専門委員会の設置
昭和59年	3月	博物館展示基本計画の策定
平成2年	11月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定
平成3年	4月	博物館建設事務所設置
平成3年	5月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成3年	7月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成3年	8月	建築設計者の決定 博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成3年	9月	建築基本設計着手
平成4年	1月	建設用地の取得 展示プロポーザル提案図書の提出
平成4年	2月	展示設計・施工候補者選考委員会設置 展示設計・施工者の決定
平成4年	5月	建設実施設計及び展示実施設計着手 プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成5年	6月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成6年	8月	天体観測機器設置工事契約
平成7年	3月	相模原市立博物館条例制定 登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第32号)
平成7年	7月	博物館建設工事竣工
平成7年	10月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
平成7年11月20日 開館		
平成8年	1月	天体観測室と観測テラスで「星空観望会」を開始 5/19 入館者数10万人を超える
平成8年	5月	入館者10万人達成記念式典

令和5年度 相模原市立博物館 年報

平成 8年 10月	平成8年度第41回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞
平成 9年 4月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始
平成 9年 4月	隣接地に淵野辺公園第2駐車場(50台収容)が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9年 5月	1997年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9年 10月	平成9年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9年 11月	平成9年度第38回建築業協会賞受賞
平成11年 11月	11/21 入館者数50万人を超える
平成12年 5月	公共建築賞優秀賞受賞
平成16年 1月	1/18 入館者数100万人を超える 入館者100万人達成セレモニー
平成17年 1月	企画展示として「学習資料展」を開始
平成17年 4月	市立博物館シンボルマークを制定
平成17年 10月	開館10周年記念特別展「博物館10年の歩み」を実施
平成17年 11月	相模原市立博物館開館10周年
平成22年 4月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設(補助執行)
平成22年 7月	小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを世界初公開 以後、毎年JAXA連携企画展を開催
平成23年 4月	天文展示室リニューアルオープン
平成23年 5月	博物館周辺の動植物を観察するミニ観察会を開始(現在は「生きものミニサロン」として実施)
平成23年 7月	市内小中学校の教材利用として博物館資料の「貸出しキット」事業の開始
平成23年 8月	8/28 入館者数200万人を超える 入館者200万人達成セレモニー
平成23年 11月	ボランティアや中高生の部活動の発表の場として「学びの収穫祭」を開始
平成24年 1月	Twitterを開設(@scm_sagapon) 「相模原市立博物館の職員ブログ」を開設
平成24年 2月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が5万人を超える

令和5年度 相模原市立博物館 年報

平成25年	4月	研究者らを招き月1回、講演やワークショップを行う「さがみはら宇宙の日」を開始(令和元年度まで)
平成25年	7月	吉野宿ふじやリニューアルオープン 小惑星イトカワの微粒子を世界初公開(光学顕微鏡による直接観覧)
平成25年	8月	市民協働事業で博物館と尾崎弔堂記念館にWi-Fi環境導入(尾崎弔堂記念館のWi-Fiは令和3年3月まで)
平成27年	3月	吉野宿ふじや常設展示リニューアル 津久井郷土資料室を廃止
平成27年	6月	6/20 入館者数250万人を超える
平成27年	11月	相模原市立博物館開館20周年
平成28年	2月	尾崎弔堂記念館常設展示リニューアル
平成28年	4月	プラネタリウムの操作等業務委託をPPP(Public Private Partnership)で選考した業者と契約
平成29年	4月	吉野宿ふじや活性化事業を公募型プロポーザル方式で選考した団体と契約
平成31年	3月	3/19 入館者数300万人を超える 来館者数300万人達成記念事業実施
平成31年	4月	市史編さん班廃止
令和2年	9月	「ネットで楽しむ博物館(YouTube・相模原市立博物館公式チャンネル)」を開設
令和2年	11月	相模原市立博物館開館25周年 相模原市立博物館開館25周年記念ポストカード作成・販売開始
令和3年	2月	博物館入口に「さがみん×はやっ君デザインマンホール蓋」を設置
	3月	小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還カプセルを世界初公開
	7月	博物館キャラクター「おびのっち」が商標原簿に登録
	12月	小惑星探査機「はやぶさ2」の小惑星リュウグウサンプルを公開
令和4年	4月	「星空観望会」をリニューアルし、新たに「ナイトプラネタリウム&観望」として開始

令和5年度 相模原市立博物館 年報

令和 5年 2月	Instagram を開設(@sagamihara_city_museum)
3月	博物館内全館(一部を除く)にフリーWi-Fi を再整備し、スマートフォン等を活用した多言語対応の展示ガイドを導入
令和 5年10月	市公共施設の子どもの個人利用無料化に伴い、市内在住または在学の小中学生と全ての未就学児のプラネタリウム観覧料を無料化

付録

○相模原市立博物館条例

平成7年3月23日

条例第13号

改正 平成11年12月22日条例第58号

平成21年12月22日条例第36号

平成24年3月27日条例第21号

令和5年1月23日条例第2号

令和5年3月20日条例第45号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館(以下「博物館」という。)を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。

(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(観覧料)

第3条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、プラネタリウム投影又は全天周映画を観覧しようとするときは、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 利用者は、特別な企画の展示が行われている場合において、当該展示に係る資料を観覧しようとするときは、教育委員会がその都度定める観覧料を納付しなければならない。

3 前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第4条 前条第1項及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(観覧料の不還付)

第5条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が、観覧料を納付した者の責め

によらない理由により観覧することができないと認めるときは、この限りでない。

(利用の制限)

第6条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、その利用を制限し、又は中止させることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。
- (2) 博物館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (3) 博物館の施設、設備、資料等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があると認められるとき。

(博物館資料の特別利用)

第7条 学術研究等のため、博物館資料(博物館に保管され、又は展示されている資料をいう。以下同じ。)の撮影、模写、模造その他の特別な利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(博物館資料の館外貸出し)

第8条 次に掲げるものは、博物館資料の館外貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法第2条第1項に規定する博物館及び同法第31条第2項に規定する指定施設
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (3) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (4) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

2 館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕、一部改正〔令和5年条例2号〕)

(特別利用等の条件)

第9条 教育委員会は、博物館の管理上及び博物館資料の保全上必要と認める範囲内で、第7条又は前条第2項の承認に条件を付することができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(特別利用等の制限)

第10条 教育委員会は、次に掲げる博物館資料については、第7条又は第8条第2項の承認をしないものとする。

- (1) 保全上支障があると認めるもの
 - (2) 寄託を受けたもので寄託者の承諾を得ていないもの
 - (3) 著作権のあるもので著作権者の承諾を得ていないもの
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が適当でないと認めるもの
- (追加〔平成11年条例58号〕)

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、博物館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(販売行為等の禁止)

第12条 何人も、博物館において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(損害賠償)

第13条 博物館の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成11年条例58号〕)

(博物館協議会の設置)

第14条 博物館法第23条第1項の規定に基づき、博物館に相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号・令和5年2号〕)

(定数)

第15条 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委員)

第16条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者

(2) 社会教育の関係者

(3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(4) 学識経験のある者

(5) 市の住民

2 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会の委員は、再任されることができる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会長及び副会長)

第17条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会議)

第18条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(運営等)

第19条 第14条から前条までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委任)

第20条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

附 則

この条例は、公布の日から起算して9月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成7年規則第36号で平成7年11月20日から施行)

附 則(平成11年12月22日条例第58号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月27日条例第21号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(令和5年1月23日条例第2号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月20日条例第45号)

この条例は、令和5年10月1日から施行する。

別表(第3条関係)

区分		単位	観覧料	
			大人	小人
プラネタリウム投 影	個人	1回につき	500円	200円
	団体(20人以上)	1人1回につき	400円	160円
全天周映画	個人	1回につき	500円	200円
	団体(20人以上)	1人1回につき	400円	160円

備考

- 1 小人とは、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者をいう。ただし、個人で観覧する15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者であって、市内に居住し、又は市内の学校教育法第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)若しくは特別支援学校(小学部及び中学部に限る。)に通学するもの(以下「市内の子ども」という。)を除く。
- 2 市内の子どもが個人で観覧する場合又は学齢に達しない者が観覧する場合の観覧料は、無料とする。

○相模原市立博物館条例施行規則

平成7年9月29日

教委規則第8号

改正 平成9年1月16日教育委員会規則第2号

平成11年3月31日教育委員会規則第10号

平成12年3月31日教育委員会規則第18号

平成14年10月1日教育委員会規則第19号

平成15年3月14日教育委員会規則第2号

平成17年3月31日教育委員会規則第3号

平成17年7月29日教育委員会規則第20号

平成19年3月30日教育委員会規則第29号

平成21年4月1日教育委員会規則第7号

平成24年3月30日教育委員会規則第9号

平成26年9月30日教育委員会規則第20号

平成27年3月30日教育委員会規則第15号

平成28年3月28日教育委員会規則第10号

平成30年9月28日教育委員会規則第12号

令和元年6月28日教育委員会規則第2号

令和2年12月28日教育委員会規則第33号

令和5年3月29日教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立博物館条例(平成7年相模原市条例第13号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)
- (2) 休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)
- (3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

(一部改正〔平成27年教委規則15号〕)

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日等の周知)

第4条 教育委員会は、第2条第1項第4号の規定により休館日を定め、若しくは同条第2項の規定により休館日を開館日とするとき又は前条第2項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を告示する等市民への周知を図るものとする。

(観覧券の交付)

第5条 教育委員会は、条例第3条第1項の観覧料を納付した者にプラネタリウム投影等観覧券を、同条第2項の観覧料を納付した者に特別展観覧券を交付するものとする。

(一部改正〔令和5年教委規則6号〕)

(観覧料の減免)

第6条 条例第4条の規定による観覧料の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

(1) 市内の学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)及び特別支援学校(高等部を除く。)の児童・生徒(それぞれの引率者を含む。)が、教育課程に基づく教育活動により観覧しようとするとき。 100パーセント

(2) 市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園若しくは保育所又はこれらに準ずる施設が行う教育活動等により幼児(その引率者を含む。)が観覧しようとするとき。 50パーセント

(3) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者が観覧しようとするとき。 100パーセント

(4) 相模原市医療費助成条例施行規則(昭和49年相模原市規則第17号)第13条第1項第2号に規定するひとり親家庭等であることの証明書に記載されている者(これに準ずる市外在住の者を含む。)が観覧しようとするとき。 100パーセント

(5) 65歳以上の者が観覧しようとするとき。 50パーセント

2 前項の規定により観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、博物館観覧料減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前項第3号、第4号又は第5号に該当するときは、申請書の提出を省略することができる。

3 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、観覧料を、減額し、又は免除するときは博物館観覧料減免決定通知書により、減額せず、又は免除しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成9年教委規則2号・11年10号・15年2号・17年3号・20号・19年29号・21年7号・24年9号・26年20号・27年15号・28年10号・30年12号・令和2年33号〕)

(観覧料の還付手続)

第7条 条例第5条ただし書の規定により観覧料の還付を受けようとする者は、その旨及び観覧することができない理由を記載した書面にプラネタリウム投影等観覧券又は特別展観覧券を添え、教育委員会に提出しなければならない。

(特別利用の手続)

第8条 条例第7条の規定により特別利用の承認を受けようとする者は、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その特別利用を、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請した者に通知するものとする。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号〕)

(館外貸出しの手続)

第9条 条例第8条第2項の規定により館外貸出しの承認を受けようとするものは、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その館外貸出しを、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請したものに通知するものとする。

3 館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、当該期間を延長することができる。

4 教育委員会は、必要があるときは、館外貸出しの期間中であっても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・26年20号〕)

(博物館資料の複写)

第10条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、別に定めるところにより、博物館資料の複写をすることができる。ただし、技術上複写をすることが困難なものその他教育委員会が適当でないとする博物館資料については、この限りでない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(販売行為等の許可手続)

第11条 条例第12条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとするものは、相模原市立博物館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可するときは相模原市立博物館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(追加〔令和5年教委規則6号〕)

(遵守事項)

第12条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許可なく動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)又は危険若しくは不潔な物品を持ち込まないこと。
- (2) 博物館資料(第9条第2項の承認を受けたものを除く。)又は博物館の器具等を博物館外に持ち出さないこと。
- (3) 指定された場所以外の場所で飲食しないこと。
- (4) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) 博物館の職員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・14年19号・令和元年2号・5年6号〕)

(損傷等の届出)

第13条 博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失させた者は、直ちにその旨を文書

により教育委員会に届け出なければならない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・令和5年6号〕)

(協議会の庶務)

第14条 相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の庶務は、博物館で処理する。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号・令和5年6号〕)

(協議会会長への委任)

第15条 前条に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号・令和5年6号〕)

(様式)

第16条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成19年教委規則29号〕、一部改正〔平成24年教委規則9号・26年20号・令和5年6号〕)

(委任)

第17条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号・24年9号・27年15号・令和5年6号〕)

附 則

この規則は、平成7年11月20日から施行する。

附 則(平成9年1月16日教委規則第2号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月31日教委規則第10号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教委規則第18号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年10月1日教委規則第19号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成15年3月14日教委規則第2号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年3月31日教委規則第3号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成17年7月29日教委規則第20号)

この規則は、平成18年4月1日から施行し、同日以後に行う観覧料の減免について適用する。

附 則(平成19年3月30日教委規則第29号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年4月1日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年3月30日教委規則第9号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年9月30日教委規則第20号)

この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附 則(平成27年3月30日教委規則第15号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月28日教委規則第10号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成30年9月28日教委規則第12号)

この規則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則(令和元年6月28日教委規則第2号)

この規則は、令和元年7月1日から施行する。

附 則(令和2年12月28日教委規則第33号)

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

附 則(令和5年3月29日教委規則第6号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

○相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例

平成17年12月21日

条例第165号

改正 平成21年12月22日条例第36号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 ^{がく}堂尾崎行雄の生誕地の屋敷跡を保存し、ゆかりの文献、遺品その他の資料を展示するとともに、青少年の勉学の場合とし、その健全な育成に寄与するため、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館(以下「記念館」という。)を相模原市緑区又野691番地に設置する。

(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(利用の承認)

第3条 記念館を利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。承認された事項の変更をしようとするときも、同様とする。

2 教育委員会は、記念館の管理上必要と認める範囲内で、前項の承認に条件を付することができる。

(利用の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前条第1項の利用の承認をしないものとする。

- (1) 記念館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 記念館の施設、器具等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、記念館の管理上支障があると認められるとき。

(利用承認の取消し等)

第5条 教育委員会は、第3条の規定による利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは中止させることができる。この場合において、教育委員会はこれらの処分によって生じた損害の責めを負わない。

- (1) 利用者が第3条第2項の規定による利用の承認の条件に違反したとき。

(2) 利用の申請に虚偽又は不正があったとき。

(3) 前条各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(4) 災害その他やむを得ない理由により教育委員会が必要と認めたととき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)が、この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

(権利譲渡等の禁止)

第6条 利用者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別な設備等の承認)

第7条 利用者は、特別な設備を施し、又は特別な器具等を使用するときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、記念館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(販売行為等の禁止)

第9条 何人も、記念館の敷地内において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、あらかじめ教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(原状回復の義務)

第10条 利用者は、記念館の利用を終了したとき、又は第5条の規定により利用の承認を取り消され、利用の制限を受け、若しくは利用を中止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 利用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会がこれを執行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

(損害賠償)

第11条 記念館の施設等及び展示品等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第12条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月20日から施行する。

(津久井町の編入に伴う経過措置)

2 この条例の施行の日前に旧津久井町立尾崎琴堂記念館の設置及び管理に関する条例(昭和55年津久井町条例第18号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

○相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例施行規則

平成18年2月24日

教育委員会規則第10号

改正 平成27年1月13日教育委員会規則第1号

令和2年3月31日教育委員会規則第19号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例(平成17年相模原市条例第165号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立尾崎^{がく}堂記念館(以下「記念館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)

(2) 休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)

(3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

3 教育委員会は、第1項第4号の規定により休館日を定め、又は前項の規定により休館日を開館日とするときは、あらかじめその旨を告示等により市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用できる時間及び受付時間)

第3条 記念館を利用できる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

2 記念館の利用に係る申請の受付時間は、開館日の午前9時から午後4時30分までとする。

(利用承認申請手続)

第4条 条例第3条第1項の規定により承認を受けようとする者(承認された事項を変更しようとする者を除く。以下「利用申請者」という。)は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館利用承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、資料室の観覧の申請にあつては、口頭で行うものとする。

2 前項の申請書は、利用しようとする日の2日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用の承認等)

- 第5条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請書の提出があった場合において、その利用を、承認するときは相模原市立尾崎弔堂記念館利用承認通知書(以下「利用承認通知書」という。)により、承認しないときはその旨を利用申請者に通知するものとする。ただし、前条第1項ただし書の規定により口頭でなされた申請に対する承認又は承認しない旨の通知は、口頭で行うものとする。
- 2 前項本文の規定による利用の承認は、申請の順序に従って行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、公用又は公共のため、教育委員会が特に必要と認められた場合は、この限りでない。
- 3 利用承認通知書により利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、利用の際、利用承認通知書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用の取消し及び承認事項変更の手続)

- 第6条 利用者は、記念館の利用の取消し又は承認された事項の変更をしようとするときは、相模原市立尾崎弔堂記念館利用承認取消(変更)申請書を教育委員会に提出しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、利用の取消し又は承認事項の変更を、承認するときは相模原市立尾崎弔堂記念館利用承認取消(変更)決定通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(特別な設備等の承認手続)

- 第7条 条例第7条の規定により特別な設備等の承認を受けようとする者は、相模原市立尾崎弔堂記念館特別設備等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その特別な設備等を、承認するときは相模原市立尾崎弔堂記念館特別設備等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(販売行為等の許可手続)

- 第8条 条例第9条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとする者は、相模原市立尾崎弔堂記念館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可

するときは相模原市立尾崎罌堂記念館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(遵守事項)

第9条 利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 承認された以外の施設、器具等を利用しないこと。
- (2) 許可なく建物等に張り紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。
- (3) 許可なく火気を使用しないこと。
- (4) 許可なく記念館の器具等を所定の保管場所以外へ移動させないこと。
- (5) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (6) 許可なく所定の場所以外の場所で飲食しないこと。
- (7) 喫煙をしないこと。
- (8) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (9) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(職務上の立入り)

第10条 教育委員会は、記念館の管理上必要と認めるときは、係員を利用の承認をしている施設に立ち入らせることができる。この場合において、利用者は、当該係員の立入りを拒むことはできない。

(損傷等の届出)

第11条 記念館の施設、器具等を損傷し、又は滅失した者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第12条 利用者は、記念館の利用を終了したときは、直ちに係員にその旨を告げ、点検を受けなければならない。

(様式)

第13条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成27年教委規則1号〕)

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、記念館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

附 則

- 1 この規則は、平成18年3月20日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に旧津久井町立尾崎罌堂記念館の設置及び管理に関する条例施行規則(昭和55年津久井町教育委員会規則第3号)の規定により定められた様式用の紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成27年1月13日教委規則第1号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月31日教委規則第19号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

○相模原市吉野宿ふじや管理規程

平成28年4月1日

教育委員会告示第12号

改正 平成29年4月1日教育委員会告示第5号

令和2年3月31日教育委員会告示第14号

(趣旨)

第1条 この告示は、相模原市緑区吉野214番地に所在する吉野宿ふじやの適正な保存及び活用を図るため、その管理について必要な事項を定めるものとする。

(観覧日)

第2条 吉野宿ふじやの観覧ができる日(以下「観覧日」という。)は、日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日とする。ただし、次に掲げる日を除く。

(1) 12月28日から翌年の1月3日までの日

(2) 前号に掲げる日のほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、観覧ができない日を観覧日とすることができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(団体利用の特例)

第3条 前条に規定する観覧日のほか、10人以上の団体から観覧の申込みがあった場合で教育委員会が認めたときは、観覧ができない日であっても観覧させることができる。

(追加〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができる時間)

第4条 吉野宿ふじやの観覧ができる時間は、午前10時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができない日等の周知)

第5条 教育委員会は、第2条第1項第2号の規定により観覧ができない日を定め、若しくは同条第2項の規定により観覧ができない日を観覧日とするとき又は前条ただし書の規定により観覧ができる時間を変更するときは、あらかじめその旨を市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧に係る料金)

第6条 吉野宿ふじやの観覧に係る料金は、無料とする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧の制限)

第7条 教育委員会は、吉野宿ふじやの管理上適当でないと認められる者がいるときは、その観覧を制限することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(遵守事項)

第8条 吉野宿ふじやを観覧する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、資料等を損傷し、又は汚損しないこと。
- (2) 許可なく火気を使用しないこと。
- (3) 許可なく飲食しないこと。
- (4) 喫煙をしないこと。
- (5) 許可なく物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしないこと。
- (6) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (7) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (8) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成29年教委告示5号・令和2年14号〕)

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、吉野宿ふじやの管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

附 則(平成29年4月1日教委告示第5号)

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月31日教委告示第14号)

この告示は、令和2年4月1日から施行する。

発行日 令和6年4月1日
相模原市立博物館
住 所 〒252-0221 相模原市中央区高根3-1-15
TEL 042-750-8030
FAX 042-750-8061
E-mail hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
URL <https://sagamiharacitymuseum.jp/>